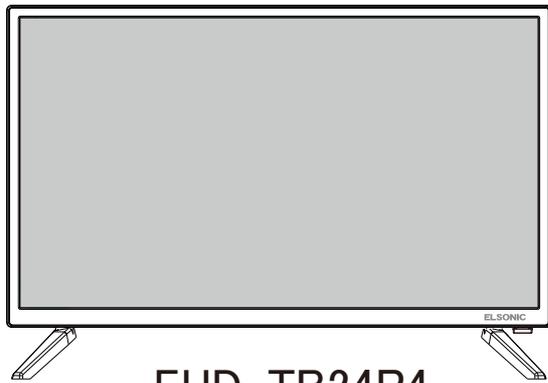


## 取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ  
(ハードディスク500GB内蔵・裏番組録画対応)

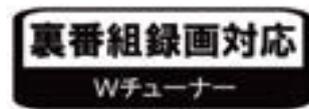


EHD-TB24R4



EHD-TB32R4

※取扱説明書内の製品画像はイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。



音声付き1.3倍速再生機能搭載

このたびは当社製品をお求めいただき誠にありがとうございました。  
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をご使用前にお読みください。  
また、お読みになった後は「製品保証書」と一緒に大切に保管してください。

### ご使用前に

- ◎ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ~4ページ)を必ずお読みください。
- ◎製品保証は「お買い上げ日・販売店名」などが記入されているかお確かめのうえ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ◎安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。

※本機で使われている画面などのイラストはイメージであり、実際の表示とは異なることがあります。  
※意匠デザイン、技術使用、ソフトウェアは製品改善のために、予告なく変更される場合があります。  
※液晶画面は非常に精密な技術により製造されています。99.99%以上の有効画素数があり、ごく僅かの無効画素(0.01%未満)で光らなったり、常時点灯する場合があります。これは故障ではありませんので、ご了承ください。



<b>安全上のご注意</b>	
異常や故障のとき	1
ご使用になるとき	2
設置されるとき	3
電源(コード、プラグ)について	4
<b>使用上のご注意</b>	
取扱いに関すること	5
液晶パネルについて	5
置き場所に関すること	5
お手入れに関すること	5
廃棄について	5
免責事項について	5
その他	5
内蔵ハードディスクについて	6
<b>本体と付属品</b>	7
<b>各部の名称と機能</b>	
正面	8
左側面	8
本体ボタン	9
下部端子	9
<b>各部の名称-リモコン</b>	10
<b>リモコンの使い方・miniB-CASカードについて</b>	
リモコンの取扱い方	11
正しく動作させるために	11
乾電池の取扱い注意	11
<b>miniB-CASカードについて</b>	11
<b>スタンドの取り付け・取り外し</b>	12
<b>miniB-CASカードの挿入</b>	13
<b>テレビを見るまでの準備</b>	
アンテナ線の接続	14~16
●録画機器等を経由してのアンテナ線接続	15
●アンテナ接続の注意事項	15
●地上デジタル用アンテナ線の接続-注意事項	15
●BS・110° CSアンテナ線の接続	16
電源を入れる	17
●はじめて電源を入れたとき	17
●リモコンで電源を入れたとき	17
●電源プラグをコンセントから抜く時の注意	17
かんたん設定	18
●かんたん設定の手順	18
録画用HDD登録	19
●録画用HDD登録の手順	19
<b>再設定</b>	
設置設定の再設定	20~21
●チャンネル設定(地上デジタル放送-初期スキャン)	20
●チャンネル設定1(地上デジタル放送-手動設定)	21
●チャンネル設定2(衛星BS-CS110度アンテナ設定)	21
リモコンボタンのチャンネル割当て	22
●地上デジタル リモコンチャンネル設定	22
●衛星デジタル リモコンチャンネル設定	22
<b>テレビを見る楽しむ</b>	
テレビ放送の選局	23
音声の調整/音声の切り換え	24
字幕放送番組の表示/非表示	25
番組情報	25

番組表の使い方	26～28
● 番組表について	26
● 番組表データの受信について	26
● 番組表の使い方	26～27
● 最新の番組表の取得	27
● 番組表/表示内容の設定	27
● 番組の検索	27～28
データ放送を楽しむ	29
● データ放送を見る	29
● ラジオ放送を聴く	29
● データ放送の確認	29
便利な機能設定	
字幕設定	30
画面の静止	30
オンタイマーの設定	30～31
無操作電源オフの設定	31
無信号電源オフの設定	31
高速起動設定(クイックスタート)	31
時計表示設定	31
映像モード設定	32～35
音声設定	36～37
文字入力	38～39
番組録画・予約機能	
録画できる機能と番組	40
USBハードディスクの登録	40～41
録画モードと録画可能時間	41
録画基本設定	42
● 録画ボタンの設定	42
● 自動予約設定	42
● オートチャプターの設定	42
● USBハードディスクの設定	42
録画と予約	43～49
● 視聴中の番組録画	43
● 番組表からの録画予約	43～44
● 番組予約の詳細決定	44～45
● 指定した日時に番組設定	45
● 録画リストの表示	45
● 録画リストの切り換え	45
● 録画番組の再生	45～46
● 録画番組の削除	47
● 録画番組のプロテクト解除	47
● 記録された番組名の変更	47
● 予約リストの表示	47
● 予約の削除	48
● 予約設定の変更	48
● 優先予約	48～49
● まとめ番組の再生(番組数が複数のとき)	49
● チャプターを選んでの再生	49
ネットワーク設定	50～51
視聴制限設定	52
外部入力機器の接続	
映像機器との接続	53
HDMI端子への接続	53
AV端子への接続	53
パソコンへの接続	54
オーディオ機器への接続	54
USBハードディスクへの接続	54
インターネットとの接続	54
外部入力機器名の設定	55
外部入力スキップ	55
HDMI音声入力の設定	55
デジタル音声入力の設定	56
HDMIリンク(CEC)機能	57～58
CEC機器の操作	58



---

サブメニュー	59
初期化設定	59
各情報一覧	60
このようなときは故障ではありません	61～64
壁掛けでのご使用	65
製品仕様	66～67



ご使用のまえにこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、上記の絵表示で区分し、説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（上記は絵表示の一例です。）



**警告**

### 異常や故障のとき



プラグを抜く

■ 万一、本体から煙が出ていたり、変なにおいがするときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、サービスセンターにご連絡ください。本機は、電源プラグをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。



プラグを抜く

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターにご依頼ください。本機は、電源プラグをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。



プラグを抜く

■ 内部に水や異物が入ったら、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターにご依頼ください。本機は、電源プラグをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。



プラグを抜く

■ 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、電源コードが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターにご依頼ください。本機は、電源プラグをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。

## 警告

### ご使用になるとき



分解禁止

- 修理・改造・分解はしないこと。  
火災・感電の原因となります。  
修理・点検はサービスセンターに  
ご依頼ください。



水ぬれ禁止

- 水にぬらしたりしないこと。  
火災・感電の原因となります。  
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は  
特にご注意ください。



禁止

- 内部に異物を入れないこと。  
クリップ・ヘアピンなどの金属類や  
紙などの燃えやすいものが内部に  
入った場合、火災・感電の原因になり  
ます。特にお子様のいるご家庭では  
ご注意ください。



禁止

- 雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと。  
感電の原因になります。

## 注意

### ご使用になるとき



禁止

- ヘッドホンをご使用になるときは、  
音量を上げすぎないこと。  
耳を刺激するような大きな音量で  
聞くと、聴力に悪い影響を与えること  
があります。



禁止

- 画面が破損し、液体が漏れてしまった  
場合は、液体を吸い込んだり、しない  
こと。中毒を起こすおそれがあります。  
万一口や目に入ってしまった場合は、  
水で洗い流し、医師の診察を受けて  
ください。  
手や服についてしまった場合は、  
アルコールなどでふき取り、水洗いして  
ください。



指示

- 電源を入れる前には音量を最小に  
すること。電源を入れる前には、接続  
しているアンプなどの音量を最小に  
してください。突然大きな音が出て  
聴力障害などの原因になることが  
あります。



禁止

- 液晶パネルに衝撃を与えないこと。  
(物を当てたり、先の尖ったもので  
突いたりしない)  
液晶パネルが割れる恐れがあります。



指示

- 通風孔に付着したホコリやゴミをこまめ  
に取り除くこと。  
内部や通風孔にホコリをためたまま使用  
すると、火災や故障の原因となること  
があります。



## 警告

### 設置されるとき



禁止

- ひざの上などで使用しないこと。  
本機は多少温度が上がります。  
ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。  
自覚症状の伴わない、低温やけどになる場合もございますので、特に肌の弱い方はご注意ください。



禁止

- 上に物を置かないこと。
  - 金属類や、花瓶・コップ・化粧品等の液体が内部に入った場合、火災・感電等の原因になります。
  - 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因になります。



禁止

- ぐらつく台の上や傾いた場所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。  
本機が落ちて、けがの原因となります。



## 注意



禁止

- 風通しの悪い場所に置かないこと。  
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
  - じゅうたんや布団の上に置かないでください。
  - テーブルクロス・カーテンなど燃え易い物を掛けないでください。
  - 押入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
  - 壁に押し付けしないでください。



禁止

- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。  
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。



禁止

- 温度の高い場所に置かないこと。  
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。  
また、破損・その他部品の劣化の原因となります。



禁止

- 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードをはずすこと。  
電源プラグを抜かずに運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。  
接続コードなどを外さずに運ぶと本機が落下し、けがの原因となることがあります。

## 警告

### 電源（コード、プラグ）について



指示

- 電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



禁止

- 電源プラグを分解・改造・修理しないこと。火災・感電の原因となります。



禁止

- 電源コード
  - 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
  - 引っ張ったり、重い物を乗せたり、はさんだりしないこと。
  - 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。



禁止

- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。

## 注意



禁止

- 通電中の電源コードに布団を掛けたり、暖房機器の近くやホットカーペットの上に置かないこと。火災・故障の原因となります。



禁止

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと。コードを引っ張って抜くと、コードが傷つき感電の原因となりますので、プラグを持って抜き差ししてください。



禁止

- 電源プラグはコンセントの奥まで、確実に差し込むこと。奥まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないこと。火災・故障の原因となります。



プラグを抜く

- 旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグはコンセントから抜くこと。万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

# 使用上のご注意

## 取扱いに関すること

- 液晶画面に衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- 移動させるときや、引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷つかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないときは、必ず電源スイッチを切っておいてください。
- 長時間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて使用してください。

## 液晶パネルについて

- 液晶パネルでは一定時間同じ画面を表示し続けると、残像（焼付け）が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画素かけや常時点灯する画素がありますので予め、ご了承ください。

## 置き場所に関すること

- 水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところ、走行中の車内など不安定な場所で使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、湿度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万が一このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

## お手入れに関すること

- 本体や操作パネル部分の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ペンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因になります。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 液晶画面についた汚れなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

## 廃棄について

- 小型家電リサイクル法では、市町村及び認定事業者が使用済み小型家電の回収を行うことになっており、回収方法は住まいの地域によりそれぞれ異なります。回収方法は、小型家電リサイクル回収ポータルサイトにてご確認くださいませ。

## 免責事項について

- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下の使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能誤動作などから生じた損害（接続したテレビや外部録画メディアなど故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 故障や修理の時に本機へ記憶された利用者の登録情報やポイントなどの一部あるいは全てが変化、消失した場合の損害や不利益について、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

## その他

- 本取扱説明書に記載された商品の仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書の内容については万全を期して作成しておりますが、万が一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、サービスセンターまでご連絡ください。

## 使用上のご注意

### 内蔵ハードディスクについて



**録画をする前に必ずハードディスクの登録を行ってください。**  
40～41ページ参照 ※初期化をすると保存されている内容は全て消去されます。

- 本機に内蔵されているハードディスクの容量は500GBです。
- ハードディスクは振動やショックに弱いため取り扱いには十分注意してください。万が一ハードディスクが破損した場合、録画した番組が全て視聴出来なくなるおそれがあります。
- 内蔵ハードディスクの交換はできません。
- 録画した番組を再生した際に、映像と音声に多少ズレが生じる場合があります。
- 本機の電源を正しく切らなかった場合、録画した全ての番組が視聴できなくなる場合があります。
- 録画した番組に対する保障は致しかねますので予めご了承ください。
- 外部入力からの録画はできません。
- 録画を行う場合は、事前に試し録画をして正常に録画できることをお確かめください。
- 物理的な衝撃(落下や重量物を本体にぶつけるなど)を与えたり、不安定な場所で使用しないでください。

# 付属品

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は、下記の通りです。万一、不足しているものがありましたら、サービスセンターにご連絡ください。

外部接続用の一部のケーブル類、及びコード類は含まれていません。別途購入してください。

## 取扱説明書(本書)



## リモコン

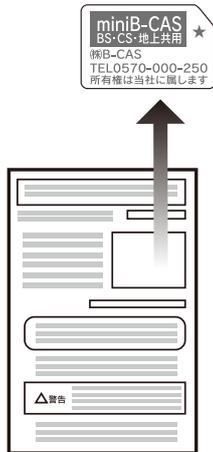


## 保証書(見本)

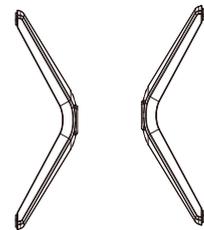
保証書	
型番	
製造番号	
無料修理保証期間	
お客様	ご芳名
	ご住所
販売店	店名
	住所
	TEL
	TEL
	印

本書はお買い上げの日から登記簿記載の保証期間中に故障が発生した場合に本書裏面記載の条件で無料修理を行うことを約束するものです。  
● 特定記入欄が空白のままです。本書は有効にはなりません。記入のない場合は必ずお買い上げの販売店へお申し出ください。

## miniB-CASカード(赤)



## スタンド



## 単4形乾電池(2本)



※ 同梱されるリモコン用の電池はテスト用です。早めに新品と交換してください。

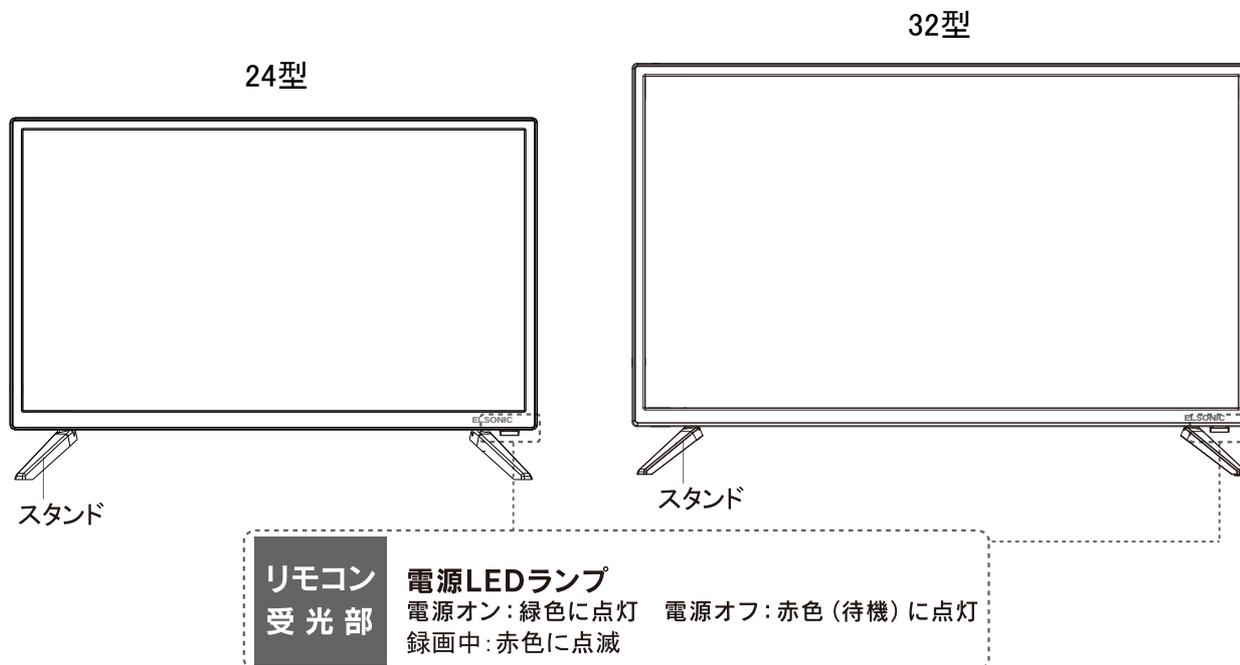
## 液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素かけや常時点灯する画素がありますので予め、ご了承ください。
- 液晶パネルでは、一定時間同じ画面を表示し続けると、残像（焼付け）が発生する場合がございますので、ご注意ください。

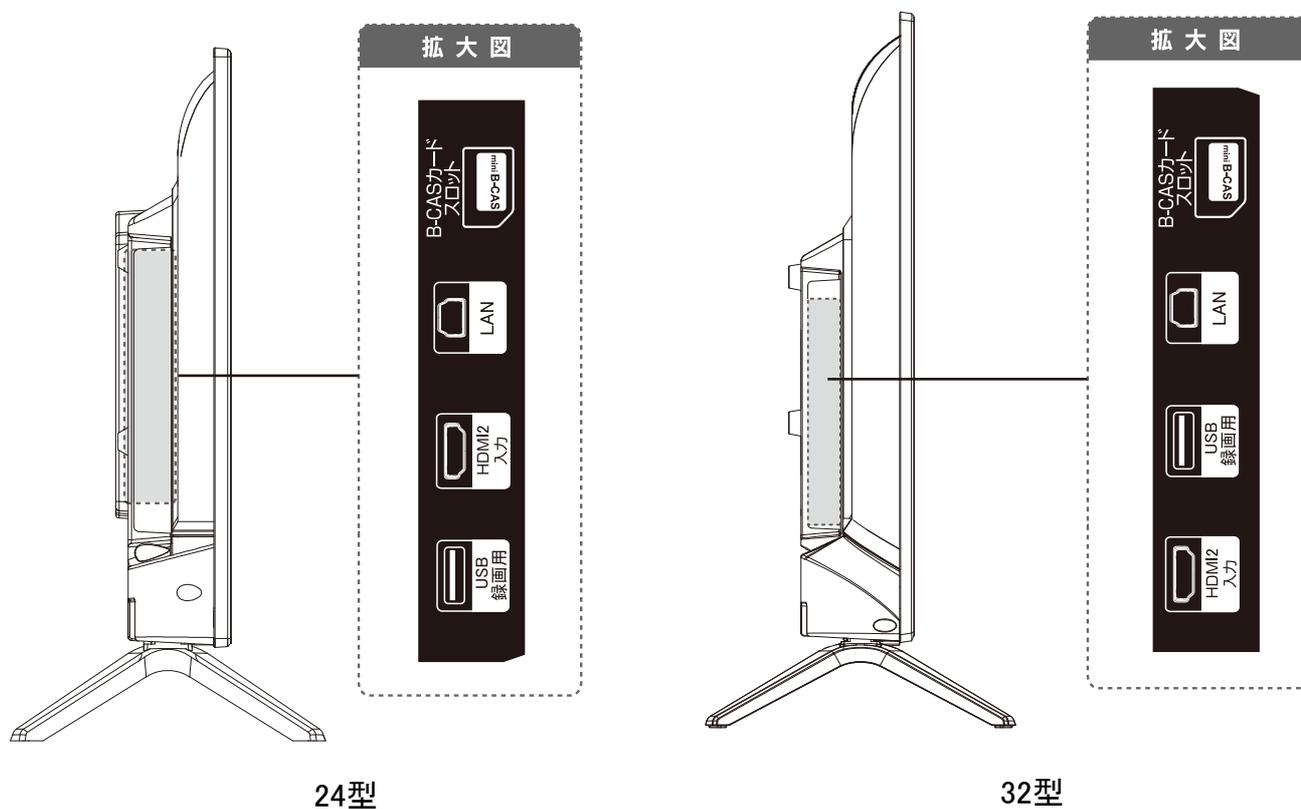
## 各部の名称と機能-1

### 正面

イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。



### 左側面





# 各部の名称と機能-リモコン

**電源**  
◆電源を入／待機に切り換えます。

**数字ボタン**  
◆チャンネル選択時に使用します。  
数字入力に使用します。

**地デジ**  
◆地上デジタル放送に切り換えます。

**番組表／番組情報**  
◆番組表・番組情報を表示します。

**dデータ**  
◆データ放送を見ることができます。

**音量＋**  
◆音量を調節します。

**メニュー**  
◆メニュー画面を表示します。

**決定**  
◆選択した項目を決定します。

**サブメニュー**  
◆サブメニューを表示／非表示します。

**番組ガイドボタン**  
◆番組表の操作ができます。

**画面サイズ**  
◆お好みの画面サイズが選択できます。

**字幕**  
◆字幕・文字スーパーの動作を設定  
できます。

**録画**  
◆視聴中の番組をダイレクト録画します。

**録画リスト**  
◆録画した番組の一覧を表示します。

**1.3倍速再生**  
◆再生中の録画番組を音声付きで  
1.3倍速再生をします。  
ボタンを押してから約3秒後に、  
1.3倍速再生が始まります。

**予約リスト**  
◆予約リストを表示／非表示します。

**10秒戻し／30秒送り**  
◆再生中の録画番組を10秒戻し／  
30秒送りします。



**入力切換／テレビ使用時**  
◆入力切換メニューが表示されます。

**BS**  
◆BS放送に切り換えます。

**CS**  
◆CS放送に切り換えます。

**画面表示**  
◆画面にチャンネル番号などを表示  
します。

**3桁入力**  
◆3桁のチャンネル番号を入力し、  
デジタルチャンネルを選択します。

**消音**  
◆音声を一時的に消します。  
もう一度押すか、音量＋／－を押すと  
消音解除されます。

**チャンネル**  
◆視聴チャンネルを切り換えます。

**戻る**  
◆一つ前の画面に戻ります。

**カーソル**  
◆カーソルで各項目を選択します。

**終了**  
◆メニュー、サブメニュー、番組表などを  
終了します。

**静止**  
◆映像画面を静止します。

**音声切換**  
◆テレビの音声を切り換えます。

**停止**  
◆録画番組の再生を停止します。  
録画中に押すと録画を停止します。

**再生／一時停止**  
◆録画番組を再生します。  
再生中に押すと一時停止します。

**早戻し／早送り**  
◆再生中の録画番組を早戻し／  
早送りします。

**前へ／次へ**  
◆前へ／次へチャプター移動を行います。

## リモコンの使い方・miniB-CASカードについて

### リモコンの取扱い方

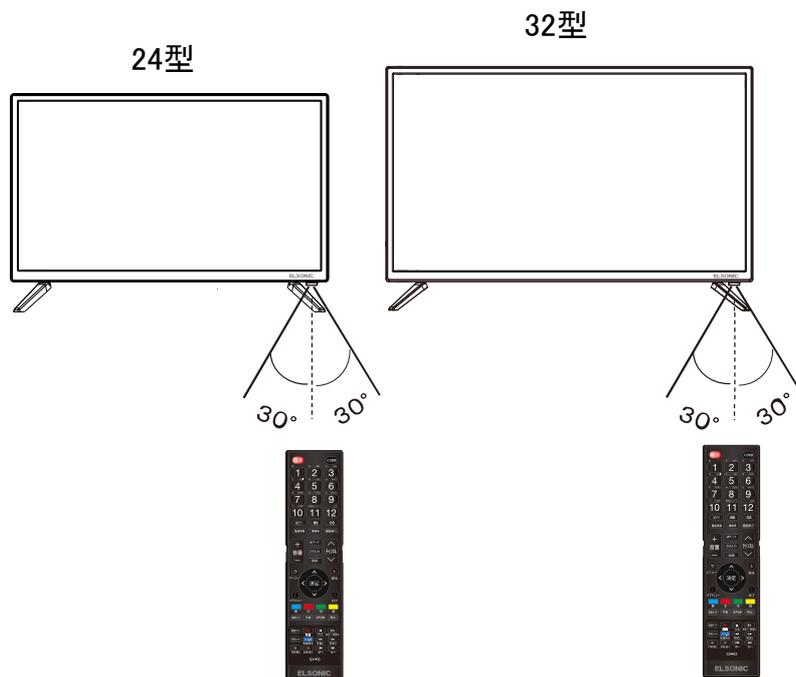
- リモコンは本体受光部分に向けて操作してください。
- 水にぬらしたり、温度の高いところに置かないでください。  
分解しないでください。
- リモコンの送信部には衝撃を与えないでください。

### 正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが誤操作したり、動かない場合があります。

- 本体とリモコンの間に、障害物があるとき。
- リモコン受光部に直射日光等の強い光があたったとき。
- 電池容量切れ。

※乾電池電極部と、リモコン電極端子が接触不良している場合があります。電池を入れなおしてください。



- リモコン受光部から(画面に向かって右下)  
距離……5m以内  
角度……左右30°以内、上下20°以内

### 乾電池の取扱い注意

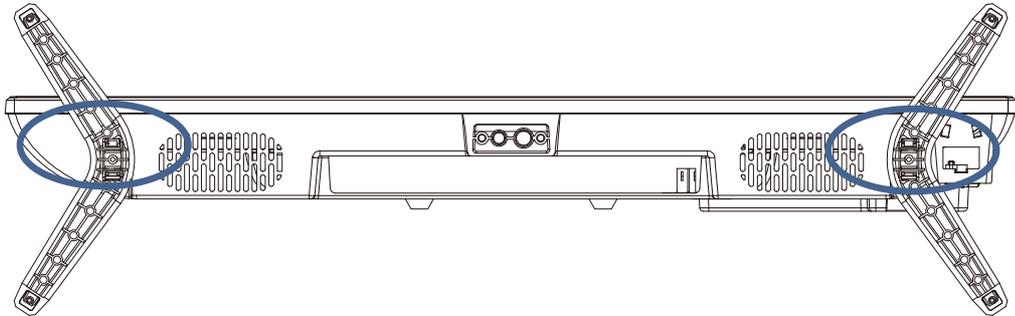
- 電池の液がもれたときには、絶対に素手で触らないでください。
- 極性表示＋を間違えないでください。
- 単4乾電池を使用してください。(市販品)
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火や水の中に投入しないでください。
- 古い乾電池を混ぜて使わないでください。
- 長時間使わないときは、乾電池を取り出してください。

## miniB-CASカードについて

- 同梱のminiB-CAS(ミニビーキャス)カードは、放送の受信に必要です。テレビに入れたまま、ご使用ください。
- 万が一、破損、汚損があった場合や、紛失盗難にあった場合は、下記へご連絡ください。  
株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL:0570-000-250
- 折り曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。IC部には手を触れないでください。

## スタンドの取り付け・取り外し

- ① 組み立ての際は、台座を取り出してください。  
テーブルなど台の上に柔らかい布などを敷き、その上に本機を寝かしてください。



- ② スタンドと上図の表示方向のように、本体の取り付け位置と合わせて、“カチッと”音が聞こえるまで差し込んでください。固定後ぐらつきがないか確かめてください。
- ③ スタンドを取り外す場合は、直径5mmのかたい物体（例えばドライバーの先端部）を使い、A図表示の穴に差し込んで、B図表示のスタンドのツメを押しながら、スタンドを取り外します。



A



B

## miniB-CASカードの挿入

- 付属されている台紙に記載の文面をよくお読みの上、必ず挿入してください。
- **挿入しないとデジタル放送が映りません。**
- 『使用許諾契約約款』をよくお読みください。

地上デジタル/BSテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「一回だけ録画可能」「回数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。  
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

1 miniB-CAS カードを台紙から取り出す。

2 miniB-CAS カードを挿入し、カチッと音がするまで押し込む

miniB-CAS カードロゴ印刷面をテレビ背面に向けて挿入してください。

※テレビ電源は必ずオフにして挿入してください。



## miniB-CAS カードのテスト

1 本体の電源ボタンで電源をオンにする。

- miniB-CAS カードを挿入後、3秒程度待った後、操作を行ってください。

2 **メニュー** を押し、「機器設定」⇨「設置設定」を選び **決定** を押す。

3 「B-CAS テスト」を選択し、**決定** を押す。

- 「NG」が表示された場合、miniB-CAS カードが挿入されているか確認してください。

## miniB-CAS カードの取り出し

1 本体の電源ボタンで電源を切る。

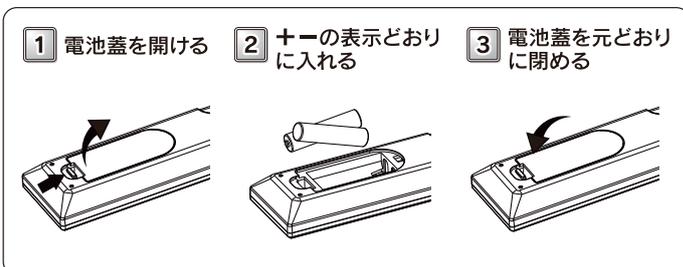
2 カチッと音がするまで押した後、miniB-CAS カードを取り出す。

- B-CAS カードは、画面メッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

## テレビを見るまでの準備 1

1 付属品をご確認ください。

2 リモコンに乾電池を入れてください。

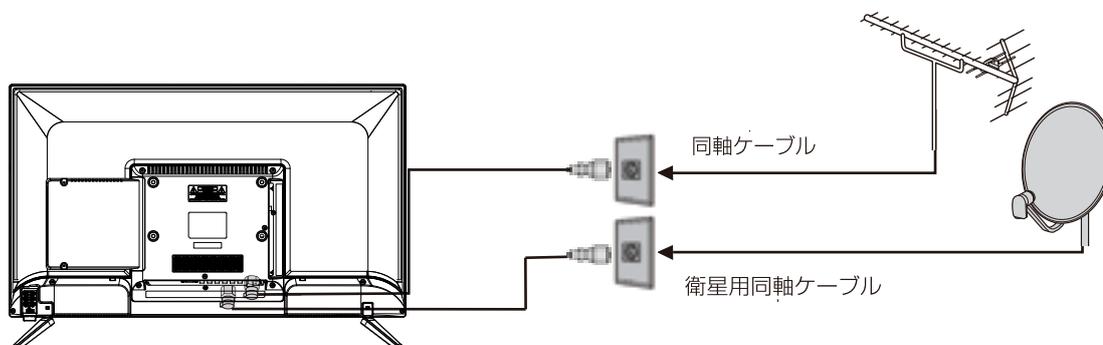


※単4乾電池を使用してください。購入時にはテスト用として単4乾電池2本が付属されています。早めに交換をしてください。

## アンテナ線の接続

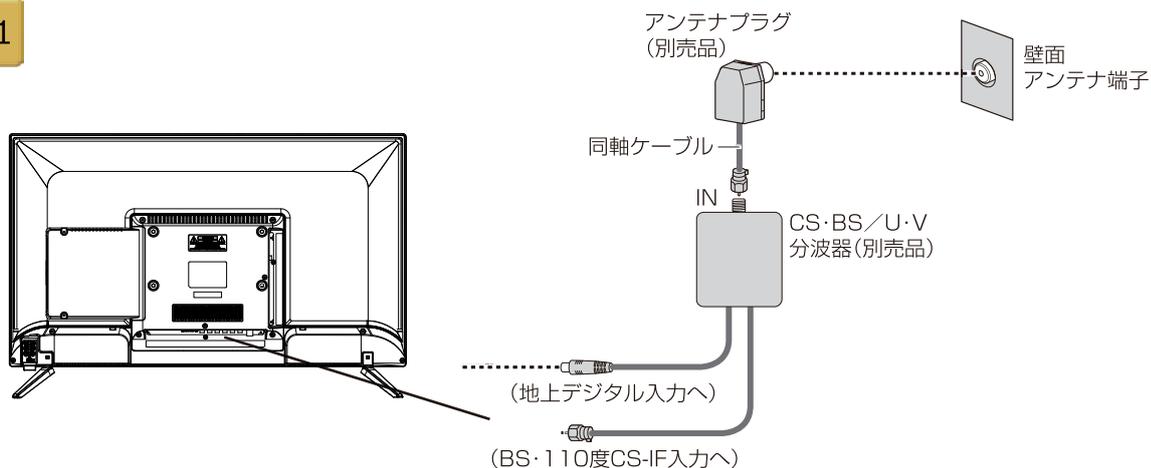
### 一戸建て 一 個別アンテナによる受信

1



### 一戸建て 一 個別アンテナによる受信

1

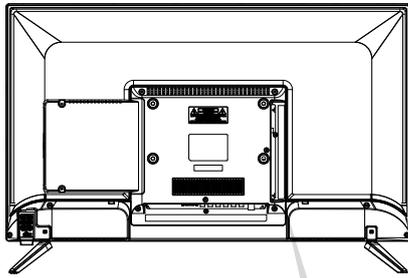


- BS・110°CS 及び地上デジタルで共用アンテナを使用する場合、DTVを受信できるようにするため一部工事が必要になることがあります。詳細については、オーナーあるいはアパート/マンションの管理組合にお尋ねください。
- BS・110°CS 共用アンテナには電源が必要です。BS・110°CS アンテナ入力端子を通じて電源が供給されるようにBS・CS/UHFミキサーおよびデュプレクサーに電流が流れるようにする必要があります。
- 本機からBS・110°CS 共用アンテナへ電源を供給する必要はありません。

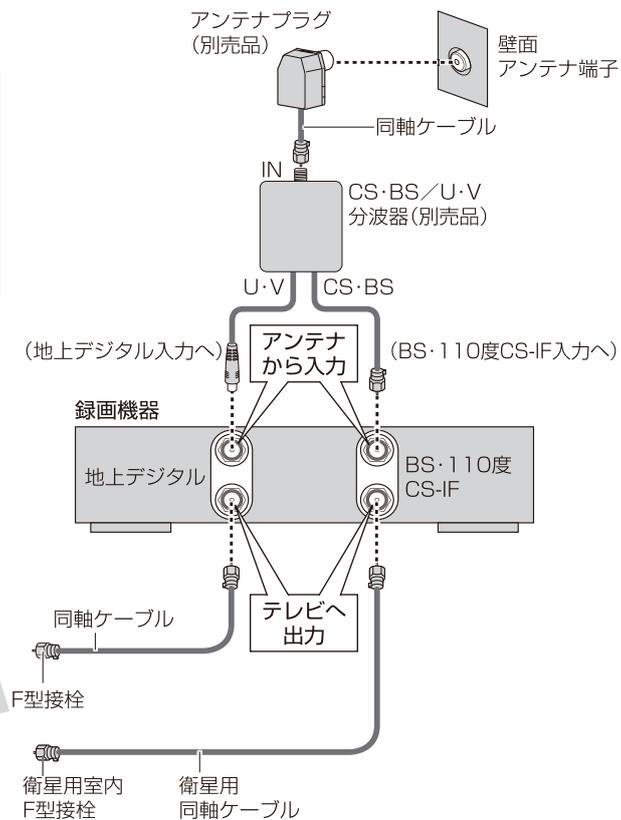
## テレビを見るまでの準備 2

### 録画機器等を経由してのアンテナ線接続

1



- 録画機器のアンテナ電源供給がオンに設定されていることを確認してください。
- 録画機器の取扱説明書を参照してください。



### アンテナ接続の注意事項

- 必ず、同軸ケーブルを使って接続してください。
- F型コネクター(ねじ式)のアンテナ線をおすすめします。本体のアンテナ端子との接続が悪いと、受信できない場合があります。
- 現在お使いのUHFアンテナを使用できる場合があります。ただし、取換えや再調整が必要になることもあります。
- UHFアンテナの周りに樹木があったり、その他の障害がある場合、受信できない場合があります。
- アンテナを接続、あるいは外すときは必ず本体の電源を切った状態で行ってください。
- BSアナログ放送用アンテナでは、BSデジタル放送を受信できないことがあります。

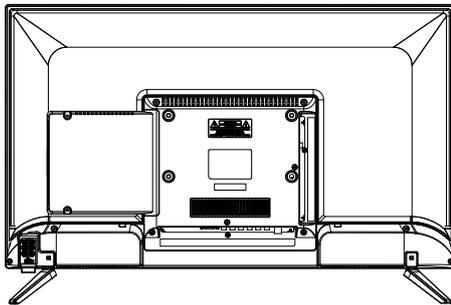
### 地上デジタル用アンテナ線の接続 — 注意事項

- 地上デジタル放送の受信アンテナを設置する場合には、必ずUHF対応アンテナを使用してください。
- 地域的特異性やアンテナの設置環境/状況によっては、お取り換えや再調整、あるいはブースター(信号増幅器)の設置等が必要な場合があります。
- 接続に必要なアンテナ線(75Ω同軸ケーブル)は、同梱されていません。使用環境条件に合わせて適切な市販品をお買い求めください。
- 信号強度(受信信号レベル)は、地域的特異性(建物/山林等の障害物)や天候により変動します。レベルは50以上になるように最適の調整を行ってください。レベルが低い場合、ブースター等を接続し、調整を行ってください。
- ケーブル放送を受信している場合は、契約されているケーブル会社にお問い合わせください。

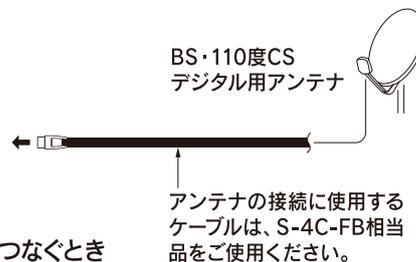
## テレビを見るまでの準備 3

### BS・110°CS アンテナ線の接続

- 本機とBS・110度CSアンテナ線の接続には、BS・CSデジタル対応ケーブル (S-4C-FB相当) をご使用ください。
- 110度CSデジタル放送を受信するに当たって、ブースターやBS・CS分配器を使用する場合には、110度CSデジタル放送 (2150MHz以上) に対応した機器のご使用をお願いします。
- 信号強度(受信信号レベル)は、地域的特異性(建物/山林等の障害物)や天候により変動します。レベルはBSは36以上、110度CSは28以上になるように最適の調整をしてください。レベルが低い場合、ブースター等を接続し、調整を行ってください。
- 本機のBS・CS入力端子よりBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。アンテナ電源供給の設定方法については、15 ページをご参照ください。



BS・110度CSデジタル用アンテナをつなぐとき

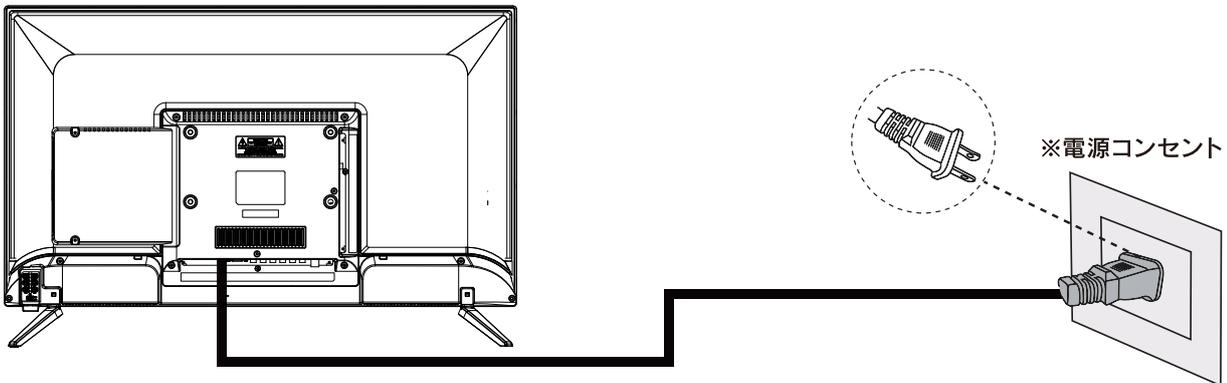


## テレビを見るまでの準備 4

### 電源を入れる

#### 1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは、コンセントにしっかりと最後まで差し込んでください。



#### 2 本体の電源ボタンを押す。

- 電源が入り、本体前面の電源表示「緑色発光ダイオード」が点灯します。
- 再度、本体の電源ボタンを押すと、電源が「切」になり「赤色発光ダイオード」が点灯します。

#### はじめて電源を入れたとき.....

- 「かんたん設定」の画面が表示されます。次ページで操作方法を説明します。

#### リモコンで電源を入れたとき.....

- 電源「入」のときにリモコンの電源ボタンを押すと、「待機」状態となり、電源表示が赤色に点灯します。
- 「待機」のときにリモコンの電源ボタンを押すと電源が入り、電源表示が緑色に点灯します。

#### 電源プラグをコンセントから抜くときの注意

- USBハードディスクに録画を行っている最中に電源プラグを抜くと、録画された番組が消失することがあります。
- 録画予約がされているときに電源プラグを抜くと、予約した番組は録画されません。
- コンセントのリード線を持って、電源プラグを抜かないでください。

## テレビを見るまでの準備 5

### かんたん設定



- ❖アンテナ接続はされていますか。
- ❖miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか。

- ご購入後、各接続終了の後、初めて本機の電源を入れたときは「かんたん設定」が表示されます。画面の表示内容に沿って、リモコンを操作して設定を行ってください。

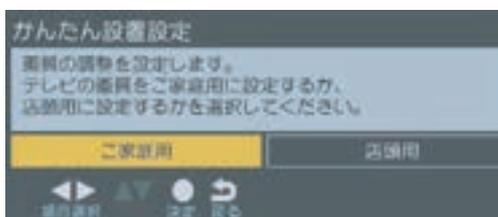
メニュー ⇨ 「機器設定」 ⇨ 「かんたん設定」

- 引っ越しなどで受信地域が変わったときなどには、上記手順で行ってください。

### かんたん設定の手順

#### 1 画質の設定

- 通常は ◀▶ で「ご家庭用」を選択してください。



#### 2 郵便番号の設定

- データ放送時の地域限定情報を表示



- 1 ~ 10 数字ボタンで入力

#### 4 miniB-CASカードテスト

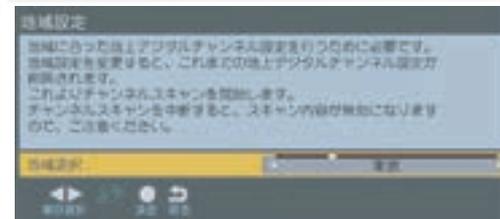


#### 3 地域の設定

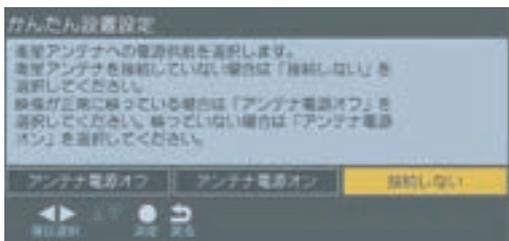
- お住まいの地域を設定



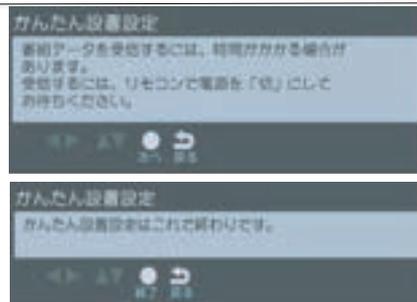
#### 5 地上デジタルチャンネル設定



#### 6 衛星アンテナ設定



#### 7 かんたん設定の終了



## テレビを見るまでの準備 6

### 録画用HDD登録

#### 録画用HDD登録の手順

- 初回起動時は、「かんたん設置設定」取扱説明書 18 ページ参照)の後「USB HDD 接続確認」が表示されます。  
必ず「はい」を選択して、内蔵 HDD に番組を録画する設定にしてください。

操作内容 → ① はい ② はい ③ はい  
④ 表示名を変更しない場合は、「いいえ」を選択してください。

#### 1 USB HDD 接続確認

##### USB HDD 接続確認

USB HDD を番組録画・再生用として登録しますか？

はい

いいえ



項目選択



決定



戻る

#### 3 USB HDD 登録する

USB HDD 登録するには、フォーマットを行う必要があります。フォーマットを行うと、USB HDD 内の全てのデータが消去されます。USB HDD をフォーマットしますか？

はい

いいえ



項目選択



決定



戻る

#### 2 テレビで再生する

このテレビで USB HDD に録画した番組はこのテレビでのみ再生できます。他のテレビやパソコンでは再生できません。また、故障によりテレビを修理された場合には、USB HDD の番組は再生できなくなります。USB HDD を登録しますか？

はい

いいえ



項目選択



決定



戻る

#### 4 表示名を設定する

表示名を設定することができます。表示名を変更しますか？

はい

いいえ



項目選択



決定



戻る

## 再設定 1

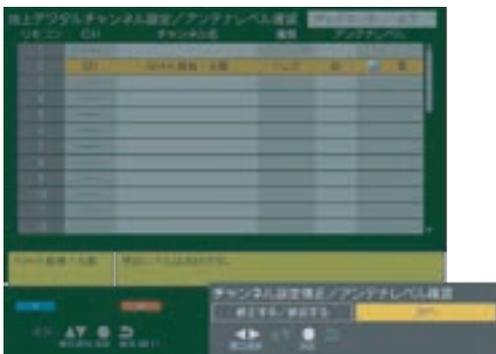
### 設置設定の再設定

かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割当などをお好みで変えたいときに行います。

#### チャンネル設定（地上デジタル放送-初期スキャン）

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

- 1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨ 「設置設定」⇨ 「チャンネル設定」を選び **決定** を押す。
- 2 「地上デジタル」を選び **決定** を押す。
- 3 「初期スキャン」を選び **決定** を押す。
- 4 「地域選択」を選び **決定** を押す。
- 5 「お住まいの地域」を選び **決定** を押す。
- 6 「次へ」を選び **決定** を押す。
- 7 「UHF」または「全帯域」を選び **決定** を押す。
  - 通常は「UHF」を選んでください。
  - 「全帯域」を選ぶと、VHF,UHF,C13～63の帯域をスキャンします。
  - 今までの設定は全てリセットされ、自動的に設定し直されます。
  - スキャンには10分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。
- 8 内容を確認する。
  - 画面下部に「電波が強すぎます」と表示された場合は「アッテネーター」を「オン」に設定の後、再スキャンしてください。
- 9 **戻る** を押して終了。



## 再設定 2

### チャンネル設定 1 (地上デジタル放送—手動設定)

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「設置設定」⇨「受信設定」を選び **決定** を押す



2 「地上」を選び **決定** を押す。



- 「アッテネーター」の設定  
- 放送信号が強すぎる場合にのみ、「オン」設定

3 「物理チャンネル」を選び **決定** を押す。

4 ▲ ▼ で「チャンネル」を選び **決定** を押す。

- アンテナの受信レベルを確認してください。

5 アンテナの位置／向き の調整

- 高所作業は大変危険です。お近くの電器販売店にご相談してください。

6 所定位置にアンテナを固定する。

### チャンネル設定 2 (衛星BS・CS110°アンテナ設定)

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「設置設定」⇨「受信設定」を選び **決定** を押す

2 「衛星」を選び **決定** を押す。



- 「トランスポンダ」「衛星周波数」の変更はしないでください。放送局からの情報がある場合のみ変更してください。  
別のトランスポンダを選択した場合、そのトランスポンダ上の先頭チャンネルが再生されます。

3 「アンテナ電源」を選び **決定** を押す。

- 「オン」；衛星アンテナ電源を直接アンテナに供給する場合
- 「オフ」；衛星アンテナ電源が他の機器から供給されている場合

4 アンテナ受信レベルの確認

5 アンテナの位置／向き の調整

- 高所作業は大変危険です。お近くの電器販売店にご相談してください。

6 所定位置にアンテナを固定する。

## リモコンボタンのチャンネル割当て

- リモコンの数字ボタンに、好きなチャンネルを割り当てることができます。

### 地上波デジタル リモコンチャンネル設定

- 1  ⇒ 「機器設定」⇒「設置設定」⇒「チャンネル設定」 ⇒ 「地上デジタル」を選び  を押す
- 2 「マニュアル」を選び  を押す。
  - 地上波デジタルのチャンネルリストが表示されます。
- 3 ▲ ▼ でリモコン数字の行を選び  を押す。
- 4 ◀ ▶ で割り当てるチャンネルを変更する。
- 5  を押して終了する。

### 衛星デジタル リモコンチャンネル設定

- 1  ⇒ 「機器設定」⇒「設置設定」⇒「チャンネル設定」
- 2 「BS」または「CS」を選び  を押す。
  - 衛星デジタル放送のチャンネルリストが表示されます。
- 3 ▲ ▼ でリモコン数字の行を選び  を押す。
- 4 ◀ ▶ で割り当てるチャンネルを変更する。
- 5  を押して終了する。

#### ■ アンテナレベルについて

- アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は受信している電波の絶対的な強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
- アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより変化します。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取るようにお願いします。

#### ■ 物理チャンネルについて

- 地上デジタル放送は、UHFの電波が使われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

## テレビ放送の選局

- テレビ放送視聴のための初期設定は終了しました。テレビをお楽しみください。

### リモコン電源ボタンで電源オン

1 リモコン電源ボタンを押し、テレビの電源を入れます。

2  で「テレビ」を選びます。

- 出荷設定は「テレビ」に初期設定されています。
- 外部入力は以下の順番の切り換え設定になっています。

→ テレビ HDMI1 HDMI2 ビデオ

3  を押す。

### 選局ボタン（数字）でチャンネル選局

1 放送切替ボタンを押して、放送の種類を選ぶ



[地デジ]：地上デジタル放送

[ B S ]：BSデジタル放送

[ C S ]：110度CSデジタル放送（スカパー 1）

2  ~  ボタンを押し、チャンネルを選ぶ。

### 順送りボタンでチャンネルの順番選局

1 [選局] ボタンを押し、見たい番組を選ぶ。

### 3桁チャンネル番号入力による選局

1 [3桁入力] ボタンを押し。

- 視聴している放送の（地上デジタル/BS/CS）入力画面を表示します。

2 番号を入力する。

例：「101」チャンネルを選ぶとき  
[1] [10] [1] ボタンを押してください。



## テレビを見る・楽しむ 2

### 選局時に表示されるタイトルの非表示

- 1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「表示の設定」⇨「タイトル表示」 **決定** を押す。
- 2 **▲ ▼** で「オフ」を選び **決定** を押す。

## 音量の調整／音声の切り換え

### 音量の調整／消音

- 1 [音量] ボタンで音量の調整を行う。
- 2 [消音] ボタンで音を一時的に消す。
  - 再度 [消音] ボタンを押すと、元に戻ります。

### 音声の切り換え

- 1 [音声切換] ボタンを押す。
  - [音声切換] ボタンを1回押すと、現在の音声を表示します。
  - 続けて押すたびに、音声切り換わります。  
<切り換えのできる音声が発送されているとき>
- 2 <二重音声放送のとき....>  
→ **主音声** ⇨ **副音声** ⇨ **主.副**
- 3 <二カ国語放送のとき....>  
→ **日本語** ⇨ **英語**

- 電源を「入」「切」すると元の音声に戻ります。（2カ国語放送のときは「主」）
- 放送によっては、「主」で外国語、「副」で日本語（解説）などの場合があります。
- 接続した外部機器でDVDなどを見ているときは、接続器側で切り換えてください。



## 字幕放送番組の表示／非表示



1 **字幕** を押す。

- ボタンを押すたびに、表示／非表示が切り換わります。

→ オフ → オン

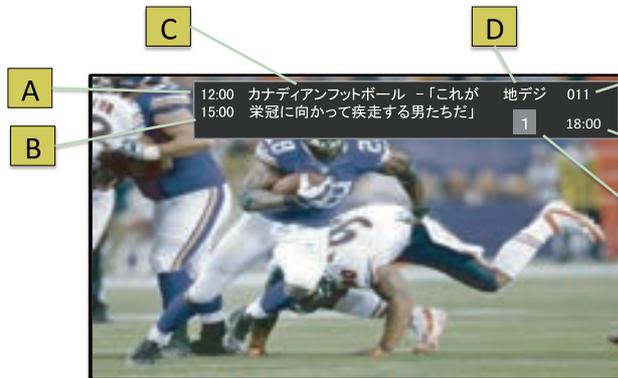
- 表示できる字幕の言語は、番組により異なります。

## 番組情報

### 番組視聴中の情報の表示

1 **画面表示** を押す。

- 「画面表示」ボタンを再度押すと、表示は消えます。



- A: 番組の開始時刻
- B: 番組の終了時刻
- C: 現在視聴中の番組名
- D: 放送の種類  
「地デジ」→地上デジタル放送  
「BS」→BSデジタル放送  
「CS」→110度CSデジタル放送
- E: リモコンボタン番号
- F: 現在時刻
- G: 3桁チャンネル番号  
枝番 (011-2) が表示される場合があります。

### 番組視聴中の番組情報（詳細）の表示

1 **番組情報** を押す。

- 「番組情報」ボタンを再度押すと、表示は消えます。



## 番組表の使い方

### 番組表について

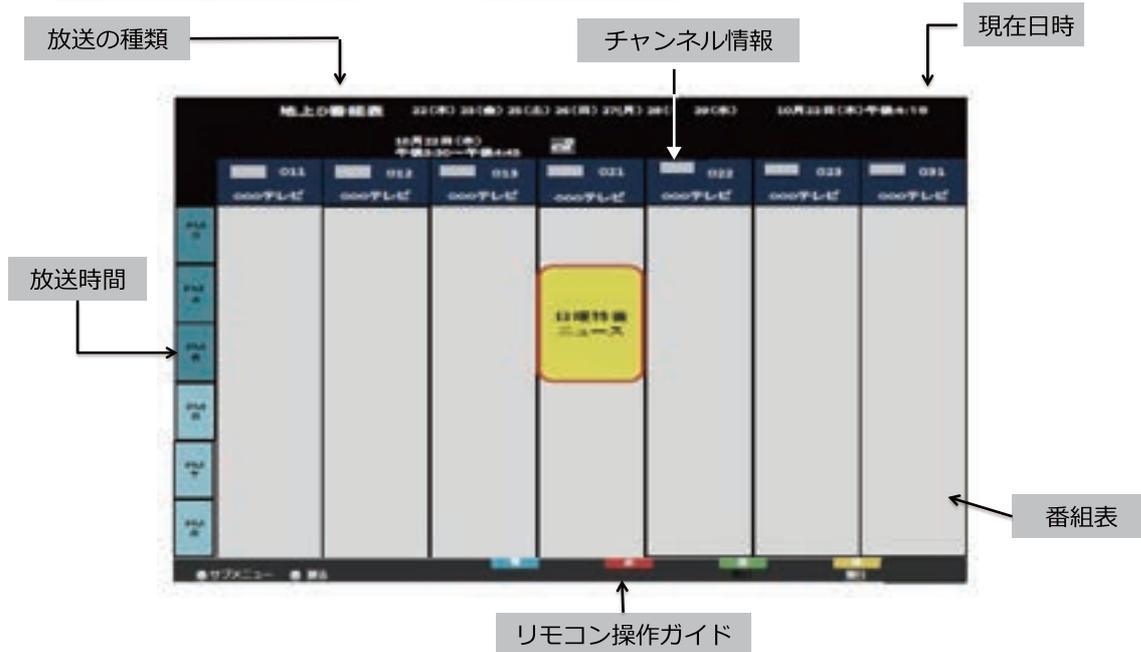
- 本機は画面上に新聞のテレビ欄のように番組を一覧表示します。画面上で番組を選べるとその番組を見たり、録画予約などをすることができます。
- 本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組表を表示します。

### 番組表データの受信について

- 番組表データは、BSデジタル放送電波のすきまで配信されます。
- 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。最大で約4時間かかります。テレビ本体の電源を切らずに、必ずリモコンで電源をお切りください。
- お買い上げ直後や本体の電源を切って1週間以上経過した場合は、番組データはありません。

### 番組表の使い方

- 1 **番組表** を押す。



- 放送の種類をかえるときは、

地デジ	BS	CS
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 を押してください。
- 前日の番組表表示は[緑]ボタン、翌日の番組表表示は[黄]ボタンを押してください。
- もう一度 **番組表** を押すと表示が消えます。

## テレビを見る・楽しむ 5

- 2 見たい番組を ▲▼◀▶ で選び **決定** を押す。



### 最新の番組表の取得

- 地上デジタル放送の番組表で、表示されない放送局がある場合に、その局の番組情報を受信して表示します。

- 1 放送局の番組欄（空欄）を選び、**決定** を押す。

- 表示には数分かかることがあります。

### 番組表・表示内容の設定

- 1 **番組表** を押し、番組表を表示
- 2 **サブメニュー** を押し、▲▼ で「表示内容」を選び
- 3 ◀▶ で「表示内容」を選び **決定** を押す。

- － 「設定チャンネル」：リモコンの数字ボタンに割り当てられているチャンネル表示
- － 「テレビのみ」：テレビ放送チャンネルの表示
- － 「全チャンネル」：放送されている全てのチャンネル表示

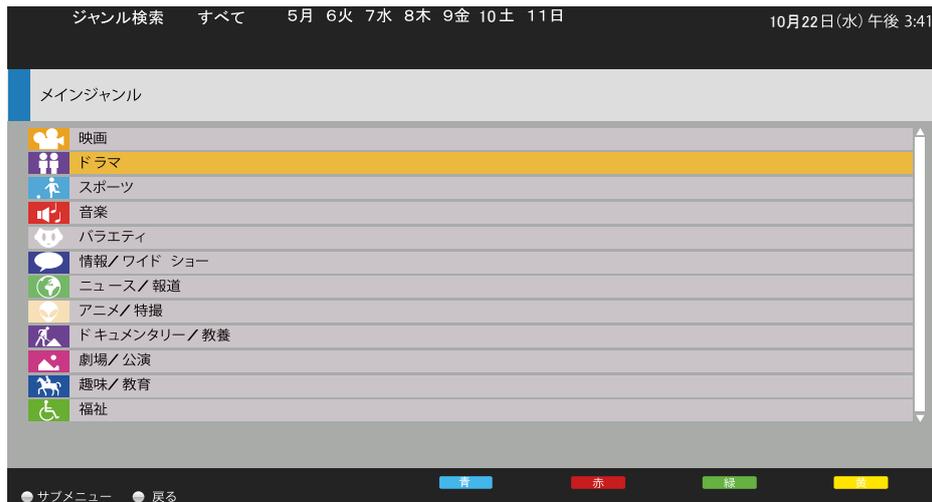
### 番組の検索

- 番組のジャンルを検索し、見たい番組を探します。

- 1 番組表を表示し、**サブメニュー** を押す。
- 2 「番組の検索」 ⇨ 「ジャンル検索」 **決定** を押す。

- 「ジャンル検索」画面が表示されます。

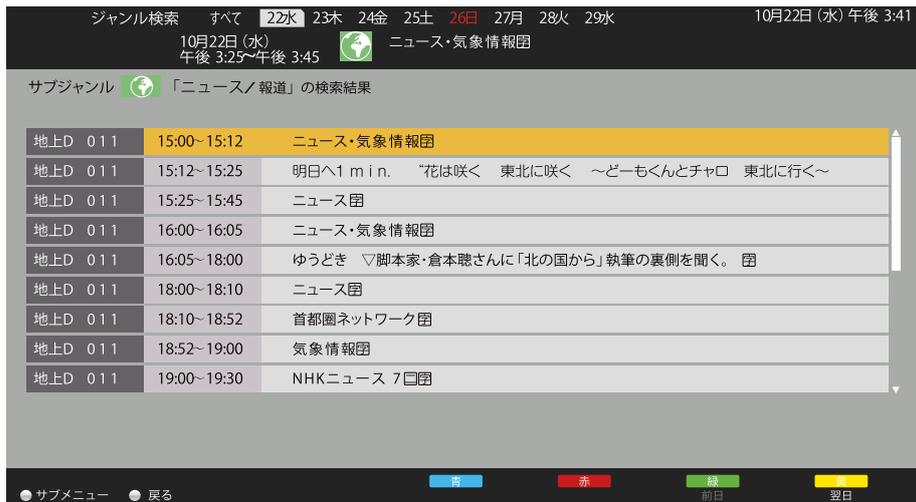
## テレビを見る・楽しむ 6



3 ◀▶ で「メインジャンル」を選び、決定 を押す。

4 「サブジャンル」を ▲ ▼ で選び 決定 を押す。

- 番組は選択している放送のジャンルから検索され、画面表示されます。



5 番組を選び 決定 を押す。

- 「番組内容」が表示されます。
- [緑] 色: 前日の検索画面を表示します。
  - [黄] 色: 翌日の検索画面を表示します。

## データ放送を楽しむ

- データ放送を見ているときに、画面の表示に従い操作すると、多様な情報を見ることができます。
- 本機ではインターネット（LAN）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。しかし、電話回線を直接本機に接続する双方向（データ放送）サービスには対応していません。

### データ放送を見る。

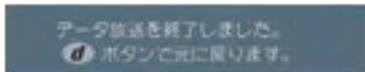
1 デジタル放送を見ているときに **dデータ** を押す。

- データ放送が利用できる番組は、データ放送画面が表示されます。
- 情報が多いときは、表示に時間がかかります。
- 番組により、押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される指示に従って、操作をしてください。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で表示したい項目を選び、 を押す。

3 デジタル放送を終了するには再度 **dデータ** を押す。

- デジタル放送終了のとき、下記画面が表示されます。



### ラジオ放送を聴く。

- 通常放送と同様に運用されており、各チャンネルの選択方法によりラジオサービスを受けることができます。

### データ放送の確認

- 「番組内容」画面でデータ放送がされているか確認することができます。
- 下記のアイコンが表示されている番組は、データ放送があります。

-  デジタル放送の番組
-  デジタル放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
-  デジタル放送で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
-  ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
-  ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組

# 便利な機能設定 1

## 字幕設定

- 字幕放送がオンエアされているときに、字幕を表示することができます。

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「表示の設定」⇨「字幕の設定」を選び **決定** を押す。



- 「字幕」:字幕の表示は“オン”設定
- 「字幕言語」:表示する言語の選択
- 「文字スーパー」:表示は“オン”設定
- 「文字スーパー言語」:表示する言語の選択

- ❖ 字幕放送がオンエアされていないときは、「字幕設定」で“オン”を選択しても字幕は表示されません。「文字スーパー」も同様です。
- ❖ 字幕や文字スーパーが必ず表示される番組があります。

2 ▲ ▼ で項目を設定し、**決定** を押す。

P25 参照

## 字幕放送番組の表示／非表示



1 **字幕** を押す。

- ボタンを押すたびに、表示／非表示が切り換わります。

→ オフ → オン

- 表示できる字幕の言語は、番組により異なります。

## 画面の静止

- 画面を停止させたいと思ったとき、画面からメモを取りたいと思ったときの便利機能です。

1 **静止** を押す。

- 音声は継続してながれます。
- 再度押すと正常状態に戻ります。

## オンタイマーの設定

1 **メニュー** ⇨ 「タイマー設定」⇨ 「オンタイマー」を選び **決定** を押す。



- 「オンタイマー」:新規設定時、使用中止の場合にはオンタイマーを“切”にして設定してください。新規設定の後“入”の設定にしてください。
- 「時刻」:電源を“入”にする時刻を設定します。**1** ~ **10/0** を入力し、設定します。
- 「音量」:電源が“入”になったときの音量を設定します。
- 「放送/入力」:電源が“入”になったときの放送または外部入力を設定します。
- 「チャンネル」:電源が“入”になったときのチャンネル(リモコン数字ボタン)を設定します。「放送/入力」設定が「設定しない」の場合、「----」が表示されます。
- 「チャンネル名」:「チャンネル」で選んだ放送局名が表示されます。

## 便利な機能設定 2

- 2 設定を行った後、 を押す。

### 無操作電源オフの設定

- テレビの無操作状態が4時間経過すると、自動的に電源が“切”になります。

- 1  ⇨ 「タイマー設定」⇨ 「無操作電源オフ」を選び  を押す。

- 2 ▲ ▼ で「入」を選び  を押す。



### 無信号電源オフの設定

- 1  ⇨ 「タイマー設定」⇨ 「無信号電源オフ」を選び  を押す。

- 2 ▲ ▼ で「入」を選び  を押す。

### 高速起動設定（クイックスタート）

- リモコンで電源を「入」にしたとき、短時間で画面を表示させることができます。

- 1  ⇨ 「機器設定」⇨ 「設置設定」⇨ 「高速起動」を選び  を押す。

- 2 ▲ ▼ で「入」を選び  を押す。

### 時計表示設定

- 画面の左下に時計（デジタル表示）を表示します。

- 1  ⇨ 「機器設定」⇨ 「表示の設定」⇨ 「時計表示」を選び  を押す。

- 2 ▲ ▼ で「オン」を選び  を押す。

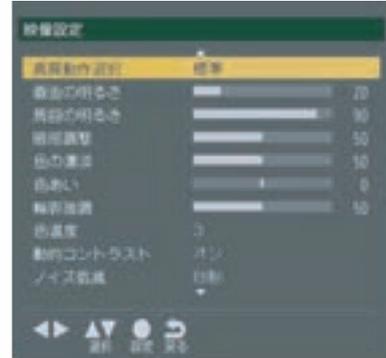
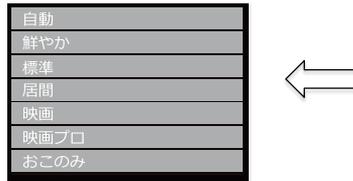
## 映像モード設定 1

- 映像設定メニューは、ご覧になる番組や外部入力の映像に合わせて、個人に合った見やすい画質を設定することができます。
- 映像設定メニューは、画面表示や画質に関する設定を個人の嗜好に合わせて変更できます。

1 ● **メニュー** を押し、「映像設定」を選び、**決定** を押す

2 ▲ ▼ で「設定する項目」を選び **決定** を押す。

3 下記順序で、各調整項目を選び、設定を行う。



❖他の項目を調整/設定するときはステップ [2] から繰り返してください。

### 画質動作選択の設定

- 視聴条件に合わせて、お好みの最適「画質動作選択」を設定します。

- 「鮮やか」 : くっきりとした明るい映像に調整します。
- 「標準」 : 毎日、みんなと楽しむ場合の映像に適合しています。
- 「居間」 : 明るい部屋で視聴する映像に調整します。
- 「映画」 : 映画を見るときに最適映像に調整します。
- 「映画プロ」 : 映画のオリジナル映像に近い映像に調整します。
- 「おこのみ」 : 個人の嗜好の映像に調整することができます。

### バックライトの設定

- バックライトの強さを設定し、映像の明るさを調整します。

- 「0」～「100」の範囲で調整ができます。  
(値が大きくなるに従い、画面は明るくなります。)

### コントラストの設定

- 映像の白い部分と黒い部分を調整します。

- 「0」～「100」の範囲でコントラスト調整ができます。

### 黒レベル調整の設定

- 映像の暗いシーンで、より黒レベルを強調させます。

- 「0」～「100」の範囲で黒レベル調整ができます。

### 色の濃淡の設定

- 映像の色の濃さを調整します。

- 「0」～「100」の範囲で色の濃度調整ができます。

## 映像モード設定 2

### 色あい（カラーテイント）の設定

- 最適な色合い（肌色画像）に調整します。
  - － 「-50」（紫色方向）～「50」（緑色方向）の範囲で色の濃度調整ができます。

### 輪郭強調（シャープネス）の設定

- 映像の輪郭がくっきりとなるように調整します。
  - － 「0」～「100」の範囲で輪郭強調（シャープネス）調整ができます。

### 色温度の設定

- 映像全体の色トーン（暖色＜赤みがかった色＞系～寒色＜青みがかった色＞系）調整をします。
  - － 「5」～「1」の範囲で色温度調整ができます。  
（値が小さくなるに従い、画面は赤みがかった色になります。）

### 動的コントラストの設定

- 画像の明るさに応じて、自動的に輝度調整します。
  - － 「オン」：動的コントラスト機能を「入」にします。
  - － 「オフ」：機能を「切」にします。

### ノイズ低減の設定

- 画像のちらつき／ざらざら感を低減させます。
  - － 「自動」：映像の種類に適合して自動調整されます。
  - － 「強」「中」「弱」：ノイズ低減の強さの変更をします。
  - － 「オフ」：この機能を停止します。
  - － 「オフ」に設定すると、そのままの映像になります。

### MPEGノイズ低減の設定

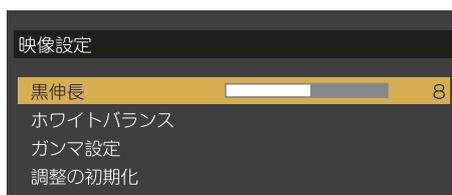
- 動きの速い映像のちらつき（モザイク／ブロック状ノイズ）を低減させます。
  - － 「強」「中」「弱」：MPEGノイズ低減の強さの変更をします。
  - － 「オフ」：この機能を停止します。
  - － 「オフ」に設定すると、そのままの映像になります。

### 高度な設定

- プロフェッショナルな映像に調整します。
  - ❖この調整は、「画質動作選択」を「鮮やか」または「標準」に設定された場合、動作設定されません。

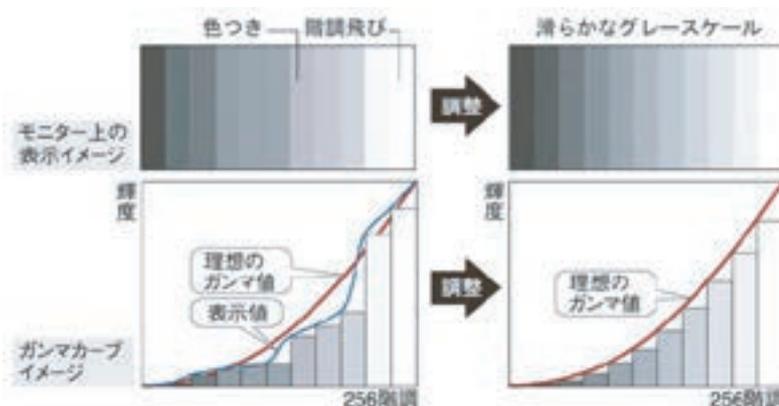
1 「高度な設定」を「入」に設定する。

2 右記画面が表示される。（詳細設定）



## 映像モード設定 3

- 「黒伸張」：中間色より黒い部分の諧調を調整します。
- 「ホワイトバランス」：赤・緑・青 色の偏りを調整します。
- 「ガンマ設定」：



- 「調整の初期化」：工場出荷時の初期値に戻します。

### シネマ設定

- ビデオ撮影された映像（毎秒24フレーム）をオリジナルに再現します。
- この設定は、各放送の種類や入力ソースごとに配置されます。

- 「オン」：シネマリアリティ機能が動作します。
- 「オフ」：この機能が停止します。

\*映像がノイズっぽくなったり、不自然な場合は「オフ」に設定してください。

### 画面の設定

- コマーシャルや番組が変わったりすると、画面サイズが変わり見にくくなることがあります。このような場合は手で画面モードを選んでください。（リモコン画面サイズボタン）
- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を持っています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。ご注意ください。
- 画面の圧縮や引き伸ばしなどの行為は、著作権法にふれる恐れがありますので、十分にご注意ください。
- 16:9 映像でない、例えば4:3 映像を「ズーム」「ジャスト」「フルモード」を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなってしまうことがあります。このような場合は「ノーマルモード」に戻してください。

#### 1 [画面サイズ] ボタンを押す。

- 「画面サイズ切替」

- 「自動」：放送や入力信号に応じて、最適な画面モードに切り換えます。

- 「フル」：左右にいっぱいに拡大します。



## 映像モード設定 4

— 「ジャスト」：違和感の少ない映像に拡大します。

\* 拡大比率は、中央付近は小さく左右付近は大きくなります。



— 「ノーマル」：オリジナル映像をそのまま表示します。



— 「ズーム」：画像全体を拡大します。



2

メニュー ⇨ 「映像設定」⇨ 「画面の設定」 を選び 決定 を押す。

- 「オーバースキャン」：16:9 映像のときに周囲を隠して表示します。16:9 映像の端まで表示するときは「オフ」にします。
- 「両横ノイズカット」：映像の両横のノイズを低減します。画面内の映像に合わせるならば【標準】を選びます。
- 「垂直位置／大きさ」：【ジャスト】【ズーム】の画面サイズを選択時、縦位置と映像サイズを調整します。  
\* 画面サイズを【ジャスト】【ズーム】に設定したときにのみ有効です。
- 「4:3映像設定」：4:3の映像サイズを調整します。ただし、1080P, 1080i, 720P 信号に対しては設定されません。

### 映像設定の初期化

- 工場出荷時の既定値にすべての映像設定を戻します。

## 音声設定 1

1 **メニュー** ⇒ 「音声設定」を選び **決定** を押す。

2 ▲ ▼ で設定したい項目を選び **決定** を押す。

- 設定したい項目を選ぶとき、ステップ2から行ってください。

### 音声調整

- 異なる視聴条件に対して、最適な音声モードを選びます。
  - － 「標準」：全音域においてノーマルな音質になっています。
  - － 「音楽」：高域と低域を強調したメリハリのある音質です。（音楽番組を楽しむ音域設定です。）
  - － 「会話」：人の声を聞きやすくした音域設定です。（シニア世代の方にお勧めです。）
  - － 「おこのみ」：個人嗜好の音域設定が可能です。



### 低音設定

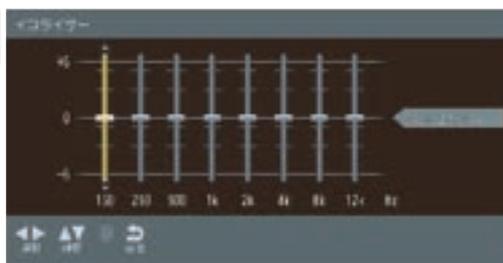
- 低音の強さを調整します。
  - － 「-15」～「15」の範囲内で低音域を調整できます。

### 高音設定

- 高音の強さを調整します。
  - － 「-15」～「15」の範囲内で高音域を調整できます。

### イコライザー

- プリセット値／カスタム設定値を使って、異なる周波数での増幅量／減衰量を調整します。
  - \*この機能は、「おこのみ」モード設定時のみに適応します。
  - \*この機能は、ヘッドホンやイヤホンでは動作しません。



- 工場出荷時の設定値に戻すには「調整の初期化」を選び、「はい」を選択してください。

### バランス

- 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。
  - － 「L15」（左 音量大）～0～「R15」（右 音量大）の範囲内でバランスを調整できます。

### サラウンド

- 臨場感あふれるサラウンドサウンド（音響効果）をもたらします。
  - \*最高のサラウンドサウンド効果は画面の中央で発揮されます。
  - \*サラウンドサウンド効果はモノラル音声については効果がありません。

## 音声設定 2

### ヘッドホンの音量調整

- ヘッドホンの音量を調整します。

### 音量自動調整

- 音が小さいときに自動的に音量をUPし、音が大きいときに自動的に音量DOWNさせることにより、音量の急激な変化を抑制します。

- － 「オン」：音量自動調整機能をオンにします。
- － 「オフ」：音量自動調整機能をオフにします。

### 入力音声補正

- 一般放送から外部入力へ切り換えると、音量が変わることが多々あります。このようなときに音量を修正／補正することができます。
- 音量を修正／補正したい外部入力に切り換えてください。

- － 「オン」：「-6」～「6」の範囲内で修正することができます。

### デジタル音声出力

- 「外部入力機器の設定」の項を参照してください。
- この機能は、テレビ視聴時でのみ使用できます。

### HDMI音声入力

- 「HDMI音声入力の設定」の項を参照してください。
- HDMI 再生時でのみ使用できます。

### 音声同時出力

※24型は非対応です。

- スピーカーとヘッドホン共に同時出力するようにします。

- － 「する」：スピーカー／ヘッドホン 同時に音声出力されます。
- － 「しない」：接続しているヘッドホン のみに音声出力されます。

\* 「する」で設定の場合、テレビ本体上の音量ボタン操作にてヘッドホンの音量が調整可能です。また、リモコン上の音量ボタン操作にてスピーカー音量が調整可能です。ヘッドホンヘッドホン端子へ接続していない場合も、同様です。ご注意ください。

「しない」で設定の場合、ヘッドホンのヘッドホン端子への接続状態によりリモコンまたはテレビ本体上の音量ボタンにより、スピーカーまたはヘッドホンの音量を調整出来ます。ヘッドホンヘッドホン端子へ挿入時には、ヘッドホン音量をテレビ本体上の音量ボタンおよびリモコン上の音量ボタンで音量を調整することが出来ます。ヘッドホンヘッドホン端子へ挿入されていない時には、いずれの操作でもスピーカー音量を調整することが出来ます。

### 工場出荷初期化設定

- 工場出荷時の状態に戻します。

## 文字入力 1

- 「文字入力」は、番組名、HDD名称改変等、あらゆるところで出てきます。この文字入力の方式を決めます。

### 文字入力方式の設定

- 文字の入力方法には、「画面キーボード方式」と「リモコンボタン方式」の2種類があります。

1 ⇨ 「機器設定」⇨ [その他の設定] ⇨ 「文字入力設定」⇨ 「入力方法」⇨ を押す。

2 「リモコンボタン」あるいは「画面キーボード」を選び を押す。

### 文字変換方式の設定

- 文字の変換方式には「通常方式」と「予測方式」があります。

1 ⇨ 「機器設定」⇨ [その他の設定] ⇨ 「文字入力設定」⇨ 「変換方式」⇨ を押す。

2 「通常方式」あるいは「予測方式」を選び を押す。

### 画面キーボード方式

	ー	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青
空白	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 終了
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	ゝ	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切換
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	ゝ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア

1 ボタンを押し、入力文字種を選ぶ。

- ボタンを押すたび、下記のように切り換わります。



2 でキーボードから文字を選び を押す。

- 上記を繰り返して、文字入力します。

3 を押し、 で漢字（カナ）変換し、 を押す。

- 入力文字種が「かな」「カナ」のときは[青]を押して、漢字を選びます。  
 で変換文字の範囲を指定することができます。
- 入力文字種が「英数」の場合、 でアルファベットと数字の半角/全角を選びます。
- 記号を入力するには「きごう」と入力した後、[青]を押して（文字変換） で選びます。
- [黄]で変換を取り消します。

4 を押し、文字入力が終了します。

## 文字入力 2

### 変換方法が「予測方式」のとき

- キーボードから文字を選び、 を押します。

	手 天気	テレビ てっきり	予測変換	
	ー や あ わ ら や ま は な た さ か あ		かな	
改行	「 ゆ い を り ゆ み ひ に ち し き い		青	変換
空白	」 よ う ん る よ む ふ ぬ つ す く う		赤	確定
キーボード移動	! つ え 、 れ ° め へ ね て せ け え		緑	
入力位置移動	? わ お 。 る ° も ほ の と そ こ お		黄	文字クリア

-     で変換候補を選び、 を押します。
- [青] を押すと、通常方式の変換に戻ります。

### 文字の追加／削除

- キーボードより「入力位置移動」を選び、 を押す。
- カーソルの位置を文字を追加する箇所まで移動し、 を押す。
- 文字を入力します。  
\* 文字がカーソルの左に追加されます。
- 文字を削除したい箇所までカーソルを移動し [黄] を押します。  
\* 文字が削除されます。

## 番組録画・予約機能 1

本機は「裏録画」に対応しており、録画中の番組とは別の番組を視聴することができます。また「留守録画」にも対応しており、録画設定の後、電源待機状態での録画が可能です。

### 録画できる機器と番組

- お好みの放送番組が録画できます。映像の無いデータ放送番組や、ラジオ放送番組および外部入力（HDMI）からの映像・音声は録画できません。
- USB端子にUSBハードディスクを接続してください。初めての接続では画面の指示に従ってUSBハードディスクの設定をしてください。
- 160GB以上のメモリー容量があるUSBハードディスクのみが使用できます。
- 登録したUSBハードディスクを他の機器で使用しないでください。初期化され、録画した番組が全て消去されます。
- 録画した番組は登録先のテレビでのみ再生することができます。他のテレビやパソコンでは再生できません。

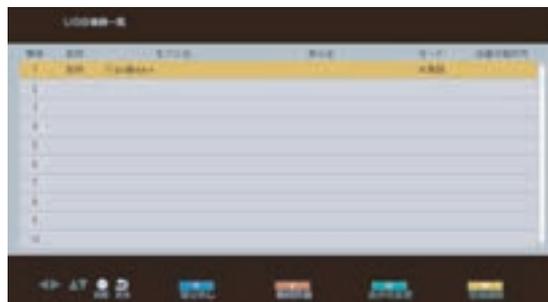
### USBハードディスクの登録

- USBハードディスクに録画／録画予約するときは登録をしなければなりません。登録により、USBハードディスクは初期化され、全てのデータは消去されます。
- 画面上の指示に従って設定をしてください。

<登録されていないUSBハードディスクを接続する場合>

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」 ⇨ 「USB機器管理」を選び **決定** を押す。

- 項目の「モード」には、USBハードディスクの登録状態が表示されます。
  - － 「登録 [録画用]」：録画・再生用に登録されています。
  - － 「登録」：録画番組の再生用に登録されています。
  - － 「未登録」：未登録のUSBハードディスクです。使用には登録が必要です。
  - － 「録画可能時間」には、録画可能残り時間が表示されます。



2 ▲ ▼ で「未登録」のUSBハードディスクを選び **決定** を押す。

3 画面に表示される内容に従って、録画用として登録します。

\*USBハードディスクは8台まで登録できますが、録画用として使えるのは1台です。それまで録画用として使ったUSBハードディスクは再生のみに変更されます。

### USBハードディスクの取り外し

- USBハードディスクの取り外しには、事前の準備が必要です。

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」 ⇨ 「USB機器管理」を選び **決定** を押す。

- USBハードディスクを選び、[青色] ボタンを押します。

### USBハードディスクの詳細情報

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」 ⇨ 「USB機器管理」を選び **決定** を押す。

## 番組録画・予約機能 2

- 接続するUSBハードディスクを選び、[赤色] ボタンを押します。
  - ー モデル名と最大容量について表示されます。
  - ー 十分な空き容量の無い場合には、必要のない番組を削除してください。

### USBハードディスクの表示名の変更

1 ⇨ 「機器設定」 ⇨ 「USB機器管理」を選び を押す

- 接続するUSBハードディスクを選び、[緑色] ボタンを押します。
  - ー 文字入力画面が表示されます。
- 表示名を入力し、[赤色] ボタンを押します。
  - \* 「文字入力」の項を参照下さい。
  - \* 37ページ、38ページ

### USBハードディスクの登録の削除

- 登録をされているUSBハードディスクが8台を超えるとときは、使用しなくなったUSBハードディスクの登録を削除してください。
- 登録を削除すると、録画した番組は再生できなくなります。再登録をするとUSBハードディスクは初期化され、録画した番組は全て消去されます。

1 ⇨ 「機器設定」 ⇨ 「USB機器管理」を選び を押す。

- 接続するUSBハードディスクを選び、[黄色] ボタンを押します。
- 画面に表示される内容に従って、登録を削除します。

## 録画モードと録画可能時間

- USBハードディスクで録画できる時間（目安）は、以下の通りとなります。

録画モード 容量	標準		
	地上デジタル HD放送 ( $\leq 17$ Mbps)	BSデジタル HD放送 ( $\leq 24$ Mbps)	BSデジタル SD放送 ( $\leq 12$ Mbps)
500 GB	約60時間	約43時間	約86時間
1 TB	約121時間	約86時間	約172時間
2 TB	約242時間	約172時間	約344時間
4 TB	約484時間	約344時間	約688時間
6 TB	約726時間	約516時間	約1032時間

- 「標準」の録画時間は、放送の転送レートによって異なります。
- 録画可能時間は理論値によって計算しているため、実際と異なる場合があります。

※6TB以上のハードディスクには対応していません。

## 番組録画・予約機能 3

### 録画基本設定

- USBハードディスクを使用して録画／再生をする前に、下記設定を行ってください。

#### 録画ボタンの設定

- 録画の自動停止時間の設定ができます。

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「録画設定」⇨「録画ボタン設定」を選び **決定** を押す。

2 ● 「番組終了」/「3時間録画」を選択し、**決定** を押す。

- － 「番組終了」：番組の終了まで録画します。
- － 「3時間録画」：録画開始後、3時間で録画停止します。



#### 自動予約設定

- 長期間自宅を留守にするときなど、一時的に番組のシリーズ予約を停止設定することができます。

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「録画設定」⇨「自動予約」を選び **決定** を押す。

- － 「オン」：自動録画予約
- － 「オフ」：自動録画予約機能が停止します。

#### オートチャプターの設定

- 録画設定番組にチャプターマークの自動追加が設定できます。

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「録画設定」⇨「オートチャプター」を選び **決定** を押す。

- － 「オン」：番組を録画しながらチャプターマークが自動的に追加されます。
- － 「オフ」：チャプターマークは追加されません。

#### USBハードディスクの設定

- 待機中のUSBハードディスクを接続し、設定します。

1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「録画設定」⇨「USB HDD待機」を選び **決定** を押す。

- － 「オン」：USBハードディスクは、待機します。
- － 「オフ」：USBハードディスクは、待機しません。

\* 「オフ」の場合、USBハードディスクの消費電力を低減することができます。ただし、記録や再生などの開始に時間がかかります。

\* 「USB HDD待機」で「オン」にしたときに、省エネ機能がUSBハードディスク上で有効になっている場合にUSBハードディスクはスタンバイモードになることがあります。

### 録画と予約

- 特定の時間帯に番組を一つのみ、予約または録画予約することができます。
- 本機は、テレビを視聴しながら別のチャンネルを録画することができます。
- 録画予約あるいは録画中、コンセントから電源コードを抜く／USBハードディスクを抜く、行為は絶対にしないでください。USBハードディスクのデータの消失や破損の原因になります。
- 録画予約最大数は64です。USBハードディスク上の録画可能な番組の最大数は3,000です。
- データ放送のデータの記録／再生可能については、番組の状態に依拠します。
- ラジオ放送番組の記録はできません。

### 視聴中の番組録画

- 今見ている番組を簡単に録画できます。

#### 1 番組を見ながら、[録画ボタン]を押す。

- 録画は自動的に開始します。
- **録画ボタン** でセットアップされた項目に従い、3時間後にあるいは番組終了後に自動的に録画停止されます。

#### 2 リモコンの[録画停止ボタン] を押して、録画を停止させます。

### 番組表からの録画予約

- 番組表からテレビ番組を予約することができます。  
**番組表** を押す。

## 番組録画・予約機能 5

2 「番組」を選び、 を押す。

- 選択された番組の詳細／放送時間が表示され、画面の左下に [今すぐ見る] と [視聴予約] が表示されます。

- － 「今すぐ見る」：現在放送されている番組の視聴
- － 「視聴予約」：まだ放送が始まっていない番組の視聴予約

\* <すぐに録画予約をしたいとき> 「番組を選び、 を押す。

3 「録画予約」を選び、 を押す。

- － 「予約する」：選択番組の予約
- － 「毎週予約する」：毎週番組の予約
- － 「自動録画する」：シリーズ番組を予約
- 「詳細設定」：予約の詳細設定



### 予約

- 番組が現在放送されている場合には、録画チャンネルは優先的に視聴チャンネルに移行します。
- 予約番組が重なっている場合には、注意のメッセージが表示されます。「はい」を選択してください。「予約重複確認」画面が表示されます。重なった予約番組を選び、[黄色] ボタンで削除してください。

### 毎週の予約

- 「自動番組予約」は、毎週同じ曜日の同じ時刻の番組を録画予約することができます。

### 自動予約

- シリーズ番組（同タイトル番組）を設定することができます。



- シリーズ予約は24個までできます。
- 同じ番組が同日に複数回放送される場合は、1回のみ予約の設定をします。
- 次の放送時間が90分以上シフトする場合は、予約が行われない場合があります。
- 「録画設定」「自動予約」「オフ」を選択した場合は、一時的に次の予約を停止します。

## 番組予約の詳細決定

1 「詳細設定」を選び、 を押す。



## 番組録画・予約機能6

- 「予約方式」：「視聴」あるいは「録画」を選びます。
- 「録画機器」：選択する録画機器を表示します。
- 「その他の設定」：録画番組のプロテクトをセットします。  
＜録画番組のプロテクト＞  
\* 誤って削除されないように、重要なあるいはお気に入りの録画番組を保護するように設定することができます。

### 指定した日時に番組設定

- 1 **メニュー** ⇨ 「タイマー設定」 ⇨ 「日時指定予約」を選び **決定** を押す。

- 日時指定の予約は、最大一年先まで予約可能です。

- 「予約方式」：「見るだけ」「録画」を選択してください。
- 「放送種別／チャンネル」：放送方式／チャンネルを設定してください。
- 「曜日／日」：日付と曜日を選びます。[毎日][毎週]も選べます。
- 「開始時刻」：予約の開始時刻を設定します。
- 「終了時刻」：予約の終了時刻を設定します。
- 「その他の設定」：「録画番組のプロテクト設定」

日時指定予約	
予約方式	見るだけ 録画
放送種別／チャンネル	地デジ 011
曜日／日	10月9日 (月)
開始時刻	10月9日 10:45
終了時刻	10月9日 11:56
録画機器	USB HDD
その他の設定	
予約せず戻る	
予約する	

\*メッセージ画面に従って、操作をしてください。

### 録画リストの表示

- 1 **録画リスト ボタン** を押す。

### 録画リストの切り換え

サブメニュー

- 1 録画リストを表示し、**決定** を押す。
- 2 「USB HDD選択」を選び、**決定** を押す。
- 3 録画リストを表示するHDDを選び、**決定** を押す。

- 選択中のHDDは、録画リスト画面の右下に表示されます。



### 録画番組の再生

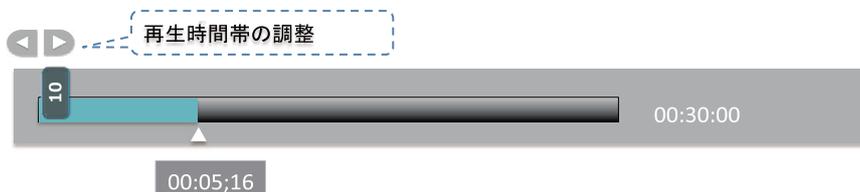
- 1 **◀▶** で、録画ジャンルを選び **▲▼** で、番組を選び、**決定** を押す。

- 選択した再生画面が表示されます。  
\* 再生画面が表示されるまでの数秒間、画面が消えます。異常ではありません。  
\* [画面表示] ボタンを押せば、画面表示されます。

## 録画番組の停止／早送り／早戻し

- 録画した番組を見ている途中（録画再生中）、番組を停止／早送り／早戻しすることができます。

- **決定** を押すと、一時停止します。
  - ① 一時停止します。
  - ② ◀▶ で、再生時間帯の調整ができます。



- ③ 一時停止中／早送り中／早戻し中に押すと、通常の再生に戻ります。
- **×1.3** ボタンを押す。
  - ① 再生中に押すと、約3秒後に、音声付き1.3倍速再生になります。 ※字幕は表示されません。
- **▲** を押す。
  - ① 再生中／早送り中／早戻し中に短く押すと、30秒スキップします。
- **▶** を押す。
  - ① 再生中／早送り中／早戻し中に押すと、早送りをします。（押すたびに5段階まで速度が上がります。）
- **▼** を押す。
  - ① 再生中に押すと、「録画一覧」に戻ります。
- **◀** を押す。
  - ① 再生中／早送り中／早戻し中に押すと、早戻しをします。（押すたびに5段階まで速度が上がります。）
- **青** を押す。
  - ① 再生中に押すと、現在のチャプターの先頭にスキップします。再度押すと、直前のチャプターの先頭にスキップします。（前の番組録画へはスキップしません。）
- **赤** を押す。
  - ① 再生中に押すと、次のチャプターの先頭にスキップします。（次の録画番組にはスキップしません。）
- **緑** を押す。
  - ① 再生中に押すと、「チャプター一覧」画面を表示します。
- **黄** を押す。
  - ① 一度押してA点を設定し、再度押してB点を設定します。<A-B間の繰り返し再生>
  - ② さらに押すと、A-Bリピートを解除します。

## 録画再生状態

- 録画再生状態は下記の図が画面表示されます。

表示	状態
	再生中
	一時停止中
	早送り中(5段階)
	早戻し中(5段階)
1.3倍速	音声付き1.3倍速再生

## 録画番組の削除

- 1 削除したい番組を選び、 を押す。
  - ❖ 確認のダイアログボックスが表示されます。
  - 録画番組のプロテクトを解除しない限り、番組を削除することはできません。
- 2 「はい」を選ぶと番組が削除されます。
  - 削除をキャンセルする場合は、「いいえ」を選択してください。

## 録画番組のプロテクト解除

- 1 プロテクト解除したい番組を選び、 を押す。
- 2 「プロテクト設定変更」を選ぶ。
  - 「する」「しない」を選択してください。

## 記録された番組名の変更

- 1 名前を変更したい番組を選択し、 を押す。
- 2 「番組名編集」を選び、 を押す。
  - 番組名を入力し、[赤色] ボタンを押してください。

## 予約リストの表示

- 1  を押す。
  -  — 記録されている通常の番組予約リストの表示
  -  — 次回以降のシリーズ番組予約リストの表示
  - ❖ 最大64本分の録画予約が表示されます。この数を超える場合は、最も古い予約から順次削除されていきます。

## 予約状態のアイコン

- 画面の右端に予約状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	意味
録画	録画予約した番組。
自動予約	シリーズ予約した番組。
次回未定	シリーズ予約の次の放送が、まだ見つかっていません。
見るだけ	視聴予約した番組。
済	予約時間が終了した番組。
済 取消	予約の取り消し操作をしたり、番組録画が録画機器状態によって取り消された。
済 おしらせ	予約実行の中止、時間の変更、指定の信号で録画することができないなど、録画装置が正しく動作していない時に表示します。
重複	優先度の低い重複した予約を表示。
警告	予約が、受信チャンネルの変更などにより実行されない時に表示。

## 番組録画・予約機能 9

### 予約の削除

1 削除したい番組を選び、 を押す。

❖ 確認のダイアログボックスが表示されます。

- 全ての予約を削除するには、 を押し、「全履歴削除」を選び、 を押す。

2 「はい」を選ぶと予約が削除されます。

- 削除をキャンセルする場合は、「いいえ」を選択してください。

### 予約設定の変更

1 予約を変更したい番組を選び、 を押す。

2 「設定変更」を選び、 を押す。 — 設定変更画面の表示

- アイテムを選び、設定変更をしてください。

「予約削除」を選んだとき。。。 

- 選択した予約が録画中の場合、録画を停止する「取り消し」を選ぶことができます。
- 週予約の場合は、「日時指定予約」画面が表示されます。

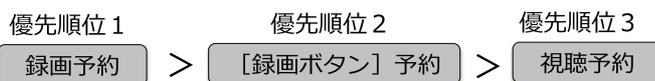
3 設定変更の後、「修正する」を選び、 を押す。

- 重複メッセージが表示されたときは、「はい」を選び、 を押し、予約を削除します。

### 優先予約

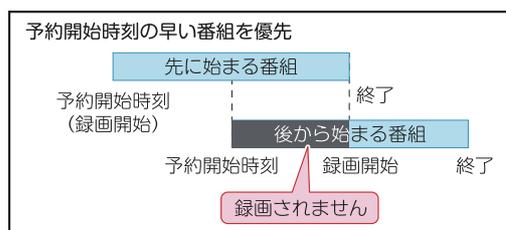
「録画予約が最優先」 

- 「録画予約番組」が最優先されます。録画予約するとき、録画中と見ている予約が重複している場合、録画予約が最優先され、現在の録画と視聴予約は停止またはキャンセルされます。



2つの予約が重複したとき。。。 

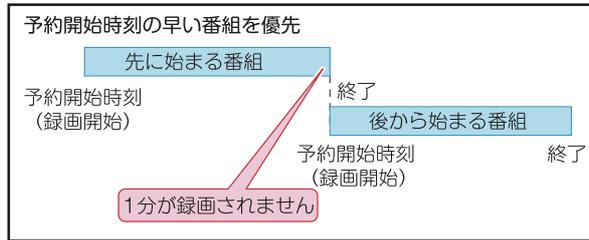
- 予約開始時刻の早い番組を優先します。



## 番組録画・予約機能10

「先に始まる番組」の終了時刻と「後から始まる番組」の開始時刻が同じとき。。。

- 後の予約は先の予約の終了一分後に開始されます。



予約番組の放送時間に近づくと画面上にメッセージが表示

- 下記メッセージが表示されます。

予約を開始します。

### まとめ番組の再生 (番組数が複数のとき)

- 1 **録画リスト ボタン** を押し、「番組グループ」を選び **決定** を押す。

- まとめられている番組のリストが表示されます。

- 2 再生したい番組を選び、**決定** を押す。

- 録画再生が開始します。

### チャプターをを選んでの再生

- 1 **録画リスト ボタン** を押し、見たい番組を選び **録** を押す。

- 「チャプター一覧」が表示されます。

- 2 再生したいシーン (チャプター) を選択し、**決定** を押す。

- 選ばれたシーンの再生が開始します。

## ネットワーク設定 1

- お使いのテレビからインターネットにアクセスするには、別途インターネットサービスプロバイダと高速ブロードバンドインターネットサービスに加入しなければなりません。
- お使いのテレビはインターネット対応で、テレビ後面のインターネットLANポートを使用してホームネットワークに接続することができます。  
画面上の指示に従って設定します。

1 後面にあるイーサネットLANポートとルーターをLANケーブルで接続

2 **メニュー** を押し、「通信設定」⇔「ネットワーク接続」を選び **決定** を押す。

本機の名称/IPアドレス/DNS設定	
本機の名称変更	WIS-TV
IPアドレス	自動取得
IPアドレス	
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
DNSアドレス	自動取得
DNS	
プロキシ設定	

- 下記の手順でネットワーク設定を行います。

### IPアドレスとDNSの設定

1 「IPアドレス」を選び **決定** を押す。

2 「IPアドレス自動取得」⇔「自動取得」/「手動設定」を選ぶ

- IPアドレスを自動取得することができれば、「自動取得」を選びます。この場合、DNSは規定値として自動的に取得されます。
- 自動的にIPアドレスを取得できない場合には、「手動設定」を選び、下記の操作を行ってください。
  - ① 「IPアドレス」を選び、**1 0 / 0** ~ **9** を押して、IPアドレスを入力します。
  - ② 「サブネットマスク」を選び、**1 0 / 0** ~ **9** を押してサブネットマスクを入力します。
  - ③ 「ゲートウェイ」を選び、**1 0 / 0** ~ **9** を押してゲートウェイアドレスを入力します。
  - ④ 「DNS」を選び、**1 0 / 0** ~ **9** を押して優先DNSサーバーのアドレスを入力します。
- 上記手順で「0」～「2 5 5」の数字の範囲内で4列それぞれ入力します。
- **黄** を押し、最後に入力した文字を削除します。▶ を押して、前の位置に移動します。

### プロキシサーバー設定

- インターネットプロバイダによって指定された場合のみ、プロキシサーバーを設定します。プロキシの設定は、HTTPに関するものです。

1 「プロキシ設定」を選び、**決定** を押す。

2 「アドレス」を選び、**決定** を押す。

3 「HTTPプロキシサーバー」のアドレスを入力する。

4 「ポート番号」を選び、**1 0 / 0** ~ **9** で、ポート番号を入力します。

## ネットワーク設定 2

### ネットワーク接続テスト

- IPアドレスやDNSなどのネットワーク接続パラメータが正しく設定されているかどうかを確認します。

1

 を押し、「通信設定」 ⇄ 「ネットワーク状態」を選び、 を押す。

- ネットワーク接続テストが開始されます。テストが終了するまでお待ちください。
- 接続が失敗した場合は、再度ケーブル接続やネットワーク設定を確認し、接続テストをやり直してください。
- 現在のネットワークに関する詳細情報を表示するには、「詳細情報」を選び  を押します。

## 視聴制限設定 1

- 指定された年齢未満のお子さんが番組を観ることを制限するために、視聴年齢制限（ペアレンタルコントロール）を設定することができます。  
\* 4桁の暗証番号の設定（初期パスワードは「0000」です。）

- 視聴制限された対象番組（番組表で表示）で有効です。

1 **メニュー** を押し、「機器設定」 ⇨ 「視聴制限設定」を選び、**決定** を押す。

- 年齢視聴制限された対象番組では、「暗証番号入力」の画面が表示されます。

2  ~  で、4桁の暗証番号の入力をする。



- 初めての暗証番号登録時には、確認のための暗証番号を2度入力します。
- 間違った番号を入力した場合、[戻る] ボタンを押して、再度行ってください。
- 入力した数字は画面上に「\*\*\*\*」で表示されます。

3 「視聴年齢制限設定」を選び、**決定** を押す。

4 制限年齢を選び、**決定** を押す。

### 暗証番号の変更

1 **メニュー** を押し、「機器設定」 ⇨ 「視聴制限設定」を選び、**決定** を押す。

暗証番号入力画面が表示されます。

2  ~  で、4桁の暗証番号の入力をする。

3 「暗証番号設定」を選び、**決定** を押す。

4  ~  で、新しい暗証番号の入力をする。

5 手順4を再度繰り返す。（確認の再入力）

### 暗証番号の削除

1 **メニュー** を押し、「機器設定」 ⇨ 「視聴制限設定」を選び、**決定** を押す。

2  ~  で、新しい暗証番号の入力をする。

3 「暗証番号解除」を選び、**決定** を押す。

4 「はい」を選び、**決定** を押す。

- 視聴年齢制限が解除されます。

# 外部入力機器の接続 1

## 映像機器との接続

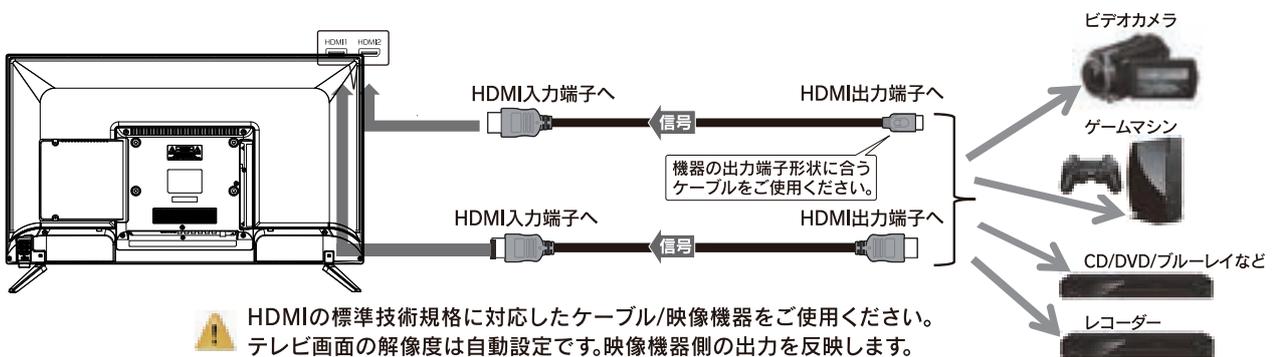
- DVDプレイヤー、ビデオカメラ、ブルーレイ、ゲーム機などの映像機器を本機に接続し、楽しむことができます。本機は高精細、高画質に対応した入力端子を備えています。接続する映像機器の出力端子に接続させて、最適な映像を楽しむことができます。

 ●接続する映像機器の取扱説明書を、必ずお読みください。  
 ●接続するときは、必ず本機並びに接続する映像機器の電源コンセントを抜いてから行ってください。  
 ●接続プラグは、しっかりと完全に差し込んでください。ノイズ発生の原因となります。

	
HDMI	AV
高画質	一般的な画質

 本機には接続に使用する上記のケーブル類は付属していません。外部の映像機器を接続するときは、お近くの電器店等にてお買い求めください。

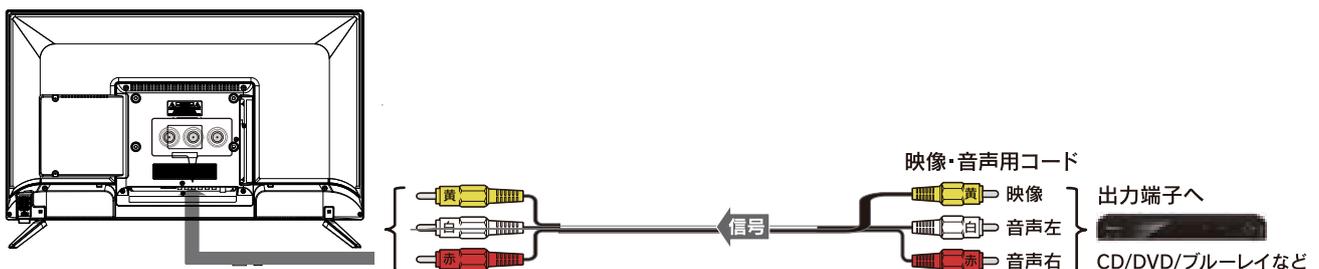
## HDMI端子への接続



### 対応画像解像度一覧/HDMI:Version1.3 Features

■480i(60Hz)/480p(60Hz) ■720p(60Hz)/1080i(60Hz) ■1080p24Hz/60Hz ■VGA(640x480)60Hz  
 ■S-VGA(800x600)60Hz ■XGA(1024x768)60Hz ■W-XGA(1280x768)60Hz ■W-XGA(1360x768)60Hz  
 ■S-XGA(1280x1024)60Hz(Compressed)

## AV端子への接続



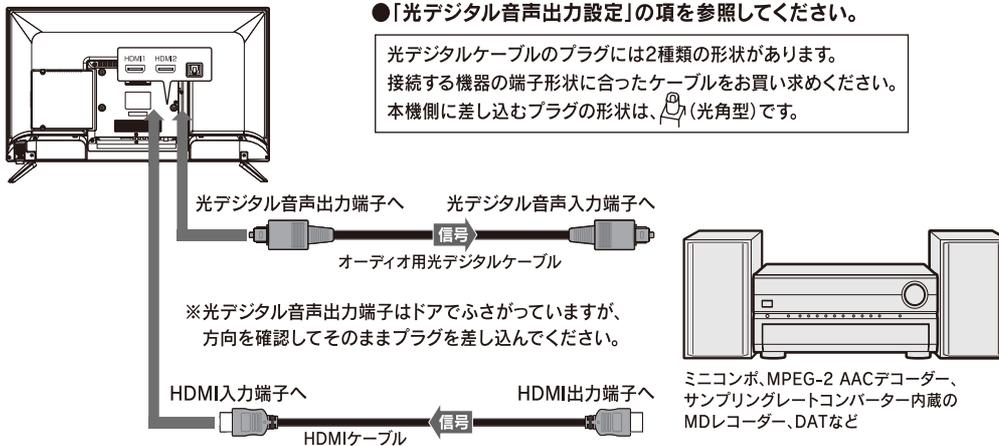
## 外部入力機器の接続 2

### パソコンへの接続



- 接続するパソコンの説明書を、必ず読んでください。
- 対応出力フォーマットは接続するパソコンの説明書をご確認ください。
- ドットバイドットには対応していません。適正の解像度でも少しにじんだ表示になる場合があります。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。
- パソコンを接続する前に、パソコンの画面設定(解像度周波数)は取扱説明書の仕様を確認し、表示できる設定に変更してください。

### オーディオ機器への接続

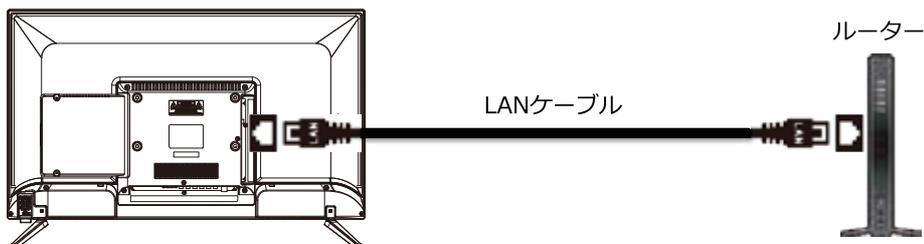


### USBハードディスクへの接続



- \*USBハードディスクを接続する前に、必ずデータのバックアップを行ってください。
- \*USBハードディスクの動作中は、本機から絶対に取り外さないでください。

### インターネットとの接続



- インターネットに接続するとデータ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組でお買い物をしたりすることができます。
- データ放送の双方向サービス用の為、インターネットの動画アプリの視聴は出来ません。また、動画アプリの録画も出来ません。

## 外部入力機器の設定 1

### 外部入力機器名の設定

- 機器名を自分用に変更することができます。(DVD、ブルーレイ等)
- \* 入力切り換え時に画面上に機器名が表示されます。

1 **メニュー** を押し、「機器設定」 ⇨ 「表示の設定」 ⇨ 「入力表示」を選び、  
**決定** を押す。

- 入力表示の選択画面が表示されます。

2 外部機器が接続される入力を選び、**決定** を押す。

3 適応するデバイス名を選び、**決定** を押す。

### 外部入力のスキップ

- 入力切り換え時に未接続の外部入力を省略することができます。

1 **メニュー** を押し、「機器設定」 ⇨ 「表示の設定」 ⇨ 「入力表示」を選び、  
**決定** を押す。

- 入力表示の選択画面が表示されます。

2 接続されていない入力機器を選び、**決定** を押す。

3 「使用しない (スキップ)」を選び、**決定** を押す。

- [入力切換] ボタンを押したときに、スキップされた入力は表示されません。

### HDMI音声入力の設定

- HDMIにDVI機器を接続した場合の音声入力 (アナログ) を設定することができます。

1 **入力切換** を押し、「HDMI入力」を選び、**決定** を押す。

2 **メニュー** を押し、「音声設定」 ⇨ 「HDMI音声入力設定」を選び、**決定** を押す。

3 DVI機器が接続されたHDMIを選び、**決定** を押す。

4 「アナログ」を選び、**決定** を押す。

- 接続された機器がHDMIの場合は、「デジタル」を選んでください。

## 外部入力機器の設定 2

### デジタル音声出力の設定

- 接続した外部音声機器に合わせて、光デジタル音声出力（SPDIF）から出力される音声信号を設定することができます。
- 外部機器との音声信号の互換性については、外部機器の取扱説明書をよく読んでください。

1 **入力切換** を押し、「テレビ」を選び、**決定** を押す。

2 **メニュー** を押し、「音声設定」⇔「デジタル音声出力」を選び、⇔ を押す。

3 ! 「自動」「PCM」「ビットストリーム」を選び、**決定** を押す。

- － 「自動」：放送の音声信号に合わせて、リニアPCM信号またはビットストリーム信号が接続された外部音響機器へ出力されます。
- － 「PCM」：常にリニアPCM信号が出力されます。外部音声機器がリニアPCM信号のみに対応している場合には、この設定を選びます。
- － 「ビットストリーム」：常にビットストリーム信号を出力します。外部音声機器がサラウンド信号（exa,MPEG-2 AAC）と互換性がある場合には、この設定を選びます。

## HDMIリンク（CEC）機能 1

- HDMIリンク（CEC）機能を使用すると、テレビのリモコンでCEC機器（DVD、ブルーレイ等）を操作することができます。
- 接続機器の取扱説明書をよく読んでください。

1 **メニュー** を押し、「機器設定」⇨「HDMI設定」を選び、**決定** を押す。

HDMI設定	
HDMI連動	
電源入連動	オン
電源切連動	オン
自動切	オン
レコーダー操作	通常

- 「電源入連動」「電源切連動」「自動切」「レコーダー操作」は、「HDMI連動」が「オン」の場合のみ適用されます。
- B-CASカードは必ずセットしてください。

2 設定したい項目を選び、**決定** を押す。

3 ステップ ② から繰り返し、項目の調整を行う。

### HDMI連動を有効にする

- ① 「オン」を選び、[決定] ボタンを押す。  
\*無効にするには「オフ」を選択します。

### 電源入連動の設定

- CEC機器のリモコンを使用して電源を入れるのと同期して、本機を自動電源オンにします。
- ① 「オン」を選び、[決定] ボタンを押す。  
\*無効にするには「オフ」を選択します。

### 電源切連動の設定

- 本機テレビのリモコンによりテレビ電源をオフにした場合、全てのCEC機器を自動的にスタンバイモードに移行させます。
- ① 「オン」を選び、[決定] ボタンを押す。  
\*無効にするには「オフ」を選択します。

### 自動切の設定

- 新しい入力へ切り換えると、未使用となる個別のCEC機器を自動的にスタンバイモードにします。
- ① 「オン」を選び、[決定] ボタンを押す。  
\*無効にするには「オフ」を選択します。

### レコーダー操作の設定

- レコーダーが入力ソースであるときにテレビのリモコンへCECレコーダの機能ボタンを追加することができます。
- ① 「オン」を選び、[決定] ボタンを押す。  
\*無効にするには「オフ」を選択します。  
\*レコーダーの操作のために通常ボタンのみを使用するには、「通常」を選んでください。

## HDMIリンク (CEC) 機能 2

「レコーダー操作」	「有効ボタン」
「通常」	方向ボタン
	決定
	戻る
	色ボタン
	巻戻し、再生、一時停止、前進、停止、後退
	機能 (Submenu)
「拡大」	「通常」 ボタンを有効
	チャンネル+ / -
	数字入力ボタン
	d データボタン
	番組表
	音声切替

### CEC機器の操作

- テレビのリモコンでCEC機器を操作します。

#### 1 HDMIにCEC機器に接続

#### 2 CEC機器の電源をオンにする。

- 「電源入連動」を「オン」に設定し、テレビでも電源を自動オンに設定しておきます。

#### 3 **入力切替** を押し、接続した機器へ入力ソースを切り換える。

- 接続した機器の画面が表示されます。
- CEC機器を操作している途中で一時的に放送へ切り換えても、「HDMI機器選択」により機器を選択して操作を再開することができます。

### CEC機器への切替え

- ① 「サブメニュー」 ボタンを押します。
- ② 「HDMI機器設定」 ⇄ 「HDMI機器選択」 を選び、**決定** を押します。
- ③ 接続されたCEC機器を選び、**決定** を押します。

### 音声出力方法の設定

- テレビのスピーカーから音声出力するか、あるいはHDMIリンク機能を使用して、外部機器へ出力するかを選ぶことができます。

  - ① 「サブメニュー」 ボタンを押します。
  - ② 「TV」あるいは「外部」を選び、**決定** を押します。

## サブメニュー

サブメニュー	
HDMI機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
録画一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
枝番選局	
信号切換	
データ放送表示切	

- ◎ 画面視聴中に **サブメニュー** を押すと左記画面が表示されます。  
これらの項目に限って、ショートカットされて直接入力することが可能です。  
\* [メニュー] から入ることもできますが、遠回りとなります。

## 初期化設定

- 設定変更された全ての項目を、工場出荷時の規定値に初期化します。
  - 設定詳細を忘れてしまった、あるいは混乱をしてしまったときなどに行ってください。
  - 初期化した場合、記録された個人情報は全て消去されます。（データ放送より取得したメールやポイント等）
  - 記録／再生に使用されるUSBハードディスクの登録情報も消去されます。USBハードディスクに記録されたコンテンツを無効にします。
  - 「視聴年齢制限設定」での暗証番号は消去されませんので、ご注意ください。
  - テレビの双方向データ放送を通じて放送局に登録された情報は消去できません。各サービスを通じてそれらを消去してください。（会員登録等は個別に取り消してください。）

1 **メニュー** を押し、「機器設定」⇄「システム設定」を選び、**決定** を押す。

システム設定
設定情報リセット
放送メール
miniB-CAS情報
CSボード
ライセンス情報
ルート証明書

2 「設定情報リセット」を選び、**決定** を押す。

3 「はい」を選び、**決定** を押す。

\* 画面が消えますが、「かんたん設置設定」画面が表示されるまで、テレビの電源を切らないでください。  
テレビ本体に問題が起こることがあります。

\* 初期化をキャンセルするには、「いいえ」あるいは[戻る]ボタンを押してください。

4 テレビ本体の電源ボタンを押し、テレビの電源を「オフ」にします。

- 初期化設定されました。

## 各情報一覧

### 放送メール

- 1 **メニュー** ⇨ 「機器設定」⇨「システム設定」⇨「放送メール」を選び **決定** を押す。
  - メール画面が表示されます。
- 2 メールを選びます。
  - 選択したメールの内容は画面下に表示されます。
  - 未読メールと既読メールがあります。
  - メールを削除する場合は、削除したいメールを選び、**赤** を押します。

### mini BCASカード情報

- 1 **メニュー** ⇨「機器設定」⇨「システム設定」⇨「BCAS情報」を選び **決定** を押す。
  - BCAS情報が表示されます。

### CSボード

- 1 **メニュー** ⇨「機器設定」⇨「システム設定」⇨「CSボード」を選び **決定** を押す。
- 2 「CSボード1」あるいは「CSボード2」を選び、**決定** を押す。
  - 110度CSデジタル放送の情報が表示されます。

### ソフトウェア情報

- 1 **メニュー** を押し、「機器設定」⇨「システム設定」⇨「ライセンス情報」⇨「ソフト情報表示」を選び **決定** を押す。
  - ソフトウェアライセンス情報が表示されます。

### テレビID

- 1 **メニュー** を押し、「機器情報」⇨「ID表示」を選び **決定** を押す。
  - IDが表示されます。
  - デコーダIDとバージョン情報が確認できます。

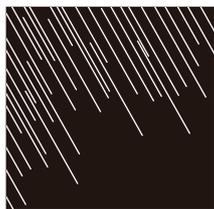
### USBハードディスクの情報

- 1 **メニュー** を押し、「機器設定」⇨「USB機器管理」を選び **決定** を押す。
  - USBハードディスクの情報が表示されます。
- 2 USBハードディスクを選びます。
- 3 **赤** を押すと、機器詳細情報が表示される。

## このようなときは故障ではありません。 1

### 悪天候におけるBS・110度CS放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには映像にノイズが多くなったり、映らなくなる場合があります。
- 天候が回復すれば、正常に映るようになります。



放送が受信できません。

1. テレビ背面と壁面のアンテナ線の接続を確認してください
2. リモコンで見たい放送（**BS** **CS**）ボタンを押してください
3. リモコンの **電** ボタンを押してアンテナレベルを確認してください

コード：E202

現在放送されていません。

コード：E203

- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

#### 本体内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始するとき「カチツ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

#### キャビネットのきしみ音

- 「ビシツ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配はありません。

#### 使用していないのに温くなる

- 使用していない時でも、番組情報取得などの動作をしている時などは、本機の温度は多少上昇します。

### 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある

液晶画面（パネル）は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

## テレビの操作ができなくなった場合…テレビをリセットする

### 電源プラグを抜き差しする。

- ① 電源コンセントから電源を抜きます。
- ② 少なくとも1分間お待ちください。
- ③ 電源コードを差し、本体の電源をオンにします。

#### 操作性の問題

このようなとき	お調べください
●テレビの電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグは、コンセントにしっかりと接続されていますか。</li> <li>・本体の主電源をオンにしていますか。</li> </ul>
●リモコンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体の受光部にまっすぐ向けていますか。</li> <li>・リモコン内部の乾電池の寿命がきていませんか。 * 付属の乾電池はテスト用です。</li> <li>・電池の極性を間違っていないか。</li> </ul>

## このようなときは故障ではありません。2

### 映像の問題

このようなとき	お調べください
●一瞬画面が暗くなる	・画面が切り換わる時に発生するノイズを押さえるために一瞬画面を暗くしています。
●画面が明るすぎたり、暗すぎたりする。	・映像の明るさや、色合いはメニューの「映像設定」から変更することができます。また変更した設定は「標準に戻す」で出荷設定に戻すこともできます。  設定を標準に戻すには 1. [メニュー] ボタンを押す 2. 「映像設定」を選び、[決定] ボタンを押す 3. 「調整の初期化」を選び、[決定] ボタンを押す 4. 確認画面で「はい」を選び、[決定] ボタンを押す
●ブロックノイズが発生する	・アンテナレベルを確認してください。  ・アンテナレベルを確認するには 1. テレビ放送視聴中に [サブメニュー] ボタンを押す 2. 「アンテナレベル」を選び、[決定] ボタンを押した後、アンテナレベルを確認する  ・アンテナレベルが低く他機器からアンテナ線を接続している場合は、アンテナ線を本機と直接接続することで改善することがあります。 ・地上デジタル放送におけるアンテナレベルの受信の目安は「44」以上、BS CSデジタル放送では「55」以上です。
●映像が揺れる／映像が不鮮明／色模様が出る／色が消える	・アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。
●画面の上下に映像の無い部分ができる。	・16:9 より横長の映像ソフト（シネマビジョンのソフト）のときは、画面の下や上下に映像の無い部分ができることがあります。
●ズームやジャストにすると画面の上下が下がる。	・画面の位置を調整してください。 1. [メニュー] ボタンを押す 2. 「映像設定」 → 「画面の設定」を選び、[決定] ボタンを押す 3. 「垂直位置/サイズ」を選び、[決定] ボタンを押した後、垂直の位置やサイズを微調整する
●チャンネル番号が画面から消えない。	・[画面表示] ボタンで、画面表示の状態になっていませんか。  ・外部入力を選んでいるときは、外部機器からの映像が入力されないと消えません。

### 衛星デジタル放送の問題

このようなとき	お調べください
●映像が出ない	・アンテナ線は正しく接続されていますか。  ・「受信設定」は、正しく設定されていますか。 1. [メニュー] ボタンを押す 2. 「機器設定」 → 「設置設定」を選び、[決定] ボタンを押す 3. 「受信設定」を選び、[決定] ボタンを押した後、設定内容を確認する

●画質や音質が悪くなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降雨対応放送になっていませんか。</li> <li>＊雨の影響により衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。</li> <li>＊降雨対応放送は、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すればもとの画質、音質に戻ります。</li> </ul>
●110度CSデジタル放送が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機と衛星アンテナをビデオデッキなどを通して接続していませんか。</li> <li>＊直接接続するか、110度CS対応のアンテナやブースター、ケーブルなどが必要です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●映像や音が出ない。 (時々出ない)</li> <li>●映像が静止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。</li> <li>またはアンテナ線の劣化などはありませんか。</li> <li>・「受信設定」の「衛星」でアンテナレベルの確認をしてください。(60以上が目安) また「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度に調整してください。</li> <li>・アンテナへの着雪、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。</li> <li>・衛星デジタル放送は、雨や雪、雷などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。</li> </ul>
●特定のチャンネルの映像や音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。</li> <li>・PHSコードレス電話機や携帯電話機などの影響を受け、映像や音が出なくなることがあります。</li> </ul>
●有料放送の視聴ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料放送を視聴するための手続きはされていますか。</li> </ul>

#### 地上デジタル放送の問題

このようなとき	お調べください
●地上デジタル放送が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UHFアンテナは地上デジタル放送の放送局に向いていますか。</li> <li>・地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していますか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●映像や音が出ない。</li> <li>●映像が静止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または劣化はしていませんか。</li> <li>・アンテナレベルが受信可能レベル(44以上が目安)に達しているか確認をしてください。</li> </ul>

#### 地上デジタル放送／BS,CS110度共通の問題

このようなとき	お調べください
●デジタル放送が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCASカードは挿入されていますか。</li> </ul>
●字幕や文字スーパーが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」がオフに設定されていませんか。</li> <li>・字幕や文字スーパーのある番組を選んでいませんか。</li> <li>・字幕の言語の設定は正しいですか。</li> </ul>

## 音声の問題

このようなとき	お調べください
●音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が最小になっていませんか。</li> <li>ミュートになっていませんか。消音マークが表示されます。</li> </ul>
●テレビ内部から「カチッ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。</li> <li>性能その他に影響ありません。</li> </ul>
●液晶パネルが動く、カタカタ音がする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>液晶パネルに力が加わらないように遊びをもうけています。故障ではありません。</li> </ul>

## 録画関連の問題

このようなとき	お調べください
●予約ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>録画予約をして本体の電源を「切」にしていますか。</li> <li>録画予約の後、USBハードディスクを取り外していませんか。</li> </ul>
●有料放送が録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当の有料放送と契約しているBCASカードが本機に挿入されていない可能性があります。</li> <li>詳しくは、契約している放送局にお問い合わせください。</li> </ul>
●番組の先頭から再生が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>USBハードディスクの録画番組を再生して途中で停止した場合、次回は停止した場面から再生するか、先頭から再生するか確認する画面を表示します。「最初から再生」を選んで決定してください。</li> </ul>
●番組が本機で再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他のテレビで再生していませんか。</li> </ul>
●番組が録画できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>USBハードディスク容量は大丈夫ですか。</li> <li>録画禁止番組は録画できません。</li> <li>録画中にUSBハードディスク、電源を抜いていませんか。</li> </ul>

## 外部機器接続の問題

このようなとき	お調べください
●DVDレコーダーなどの録画機器で選局すると一瞬黒い帯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャンネルを切り換えたときに発生するノイズによるものです。</li> </ul>
●ダウンロードを行った後、受信できなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットにつながらない。</li> <li>ネット動画が視聴、録画できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体にLANケーブルの接続端子がありますが、データ放送の双方向サービス用の為、インターネットの動画アプリの視聴は出来ません。また、動画アプリの録画も出来ません。</li> </ul>

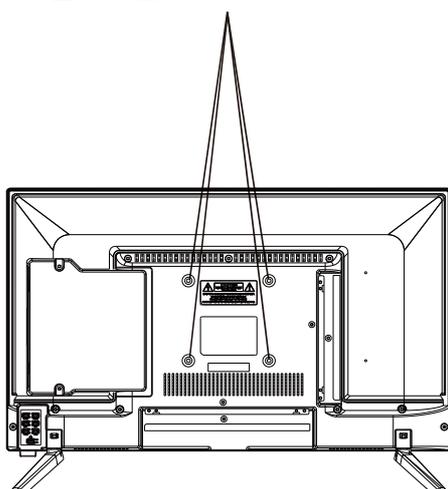
## 壁掛けでのご使用

※壁掛けでのご使用の場合は、台座を外して壁掛け金具に取り付けてください。

- 本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

### 24型

壁掛け金具取り付け用ネジ穴



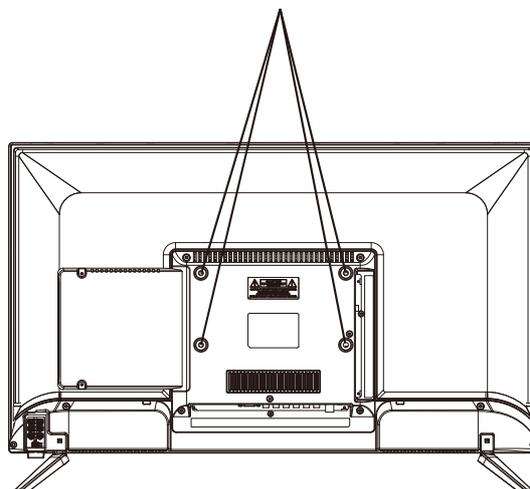
※取り付ける壁の強度に、ご注意ください。



- ネジ穴寸法は 100mm×100mm です。
- 国際標準規格VESA規格に準拠しています。

### 32型

壁掛け金具取り付け用ネジ穴



※取り付ける壁の強度に、ご注意ください。



- ネジ穴寸法は 200mm×100mm です。
- 国際標準規格VESA規格に準拠しています。

# 製品仕様

型番		24型	32型	
放送メディア	地上デジタル放送	2チューナー	2チューナー	
	BS・110度CSデジタル放送	2チューナー	2チューナー	
	CATVバススルー対応	○	○	
	CATV受信	○	○	
映像	パネル	VA	VA	
	パネルサイズ	23.6V型	31.5V型	
	画素数(水平×垂直)	1366×768	1366×768	
	アスペクト比	16:9	16:9	
	輝度(cd/m <sup>2</sup> )	250	250	
	コントラスト比	3000:1	3000:1	
	応答速度(ms)	9.5	8	
	視野角	178° × 178°	178° × 178°	
録画(※1)	USBハードディスク録画対応	○(ハードディスク内蔵500GB・裏番組録画対応)	○(ハードディスク内蔵500GB・裏番組録画対応)	
機能	テレビ番組ガイド	最大8日分表示/番組内容(詳細)機能付	最大8日分表示/番組内容(詳細)機能付	
	オフタイマー/オンタイマー	○	○	
	無線LAN内蔵	—	—	
端子群	HDMI端子	端子数	2(HDMI ver1.4)	2(HDMI ver1.4)
		ARC対応	○(HDMI1のみ)	○(HDMI1のみ)
		CEC対応	○	○
	USB端子(録画用)	1(最大6TB)	1(最大6TB)	
	D端子	—	—	
	ビデオ入力	1	1	
	S2ビデオ入力	—	—	
	光デジタル音声出力	1	1	
	LAN端子(※2)	1	1	
	パソコン入力(D-sub 15pin)	—	—	
	SDカードスロット	—	—	
	ヘッドホン端子	○	○	
	スピーカーとヘッドホンの同時出力	—	○	
	音声	スピーカーサイズ	フルレンジ×2個	フルレンジ×2個
実用最大出力(JEITA)		6W(3W+3W)	20W(10W+10W)	
使用電源		AC100V 50/60Hz	AC100V 50/60Hz	
消費電力		27W (待機時消費電力:0.3W)	45W (待機時消費電力:0.3W)	
年間消費電力量(※3)		35KWh/年	58KWh/年	
省エネ評価(目標年度2012)		★★★★	★★★	
外形寸法	テレビスタンドなし	幅:551mm 高さ:328.5mm 奥行:62.9mm	幅:731.1mm 高さ:432.4mm 奥行:85.7mm	
	テレビスタンド含む	幅:551mm 高さ:381.1mm 奥行:171.1mm	幅:731.1mm 高さ:490.7mm 奥行:210.9mm	
重量	テレビスタンド含む	約2.43kg	約4.4kg	

※1 外付けHDDは別売です。すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。

※2 デジタル放送の双方向通信用端子(10BASE-T/100BASE-TX)

※3 スタンダードモードを標準状態として測定。年間消費電力量とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に準拠し、1日4.5Hの動作時間/1日19.5Hの待機時間で算出した、1年間に使用する電力量です。

※ 製品改善の為、予告なく仕様・機能等変更する場合があります。予めご了承ください。

## 製品仕様つづき

各種 サポート機能	ESダウンロード	待機時放送受信による自動更新
	データ放送視聴（番組連動含む）	双方向通信サービス
	音声／字幕の切換え	2カ国語切換え、各種音声モード切換え
	視聴年齢制限対応	パスワードによるロック対応
	チャンネル編成変更 番組流動編成変更	更新対応（番組表／予約リスト）
	画面表示サイズ切換え	各種サイズ対応
	電子番組表（EPG）	7局6時間 8日間 録画予約と予約表示
		番組検索機能、自動番組録画機能
	録画再生	留守録画対応、同時録画、繰り返し録画
		チャプター再生、プレビュー再生
	HDMI	CEC対応、ARC対応
	オン／オフ タイマー	各種自動電源オフ対応
現在時刻表示	画面左下 - ウィンドー表示	

## 保証とアフターサービス (よくお読みください)

### 保証書について

- この製品には保証書を別途添付しております。  
「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。  
保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 使い方や修理のご相談など

- 製品についての使い方や修理についてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店、または下記窓口までお問い合わせください。

#### お客様サービスセンターのご案内

製品に関するお問い合わせ窓口  
株式会社WIS サービスセンター

〒607-8481 京都府京都市山科区北花山中道町109-9

ダイヤル

**075-582-9696**

受付時間 平日午前10時～午後5時  
土日祝祭日および弊社指定休業日を除く

輸入元: 株式会社WIS

### 廃棄時のご注意

- 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの家電製品を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。